

目 次

序文
地図
写真
目次

1. 災害概要.....	1
(1) 災害状況.....	1
(2) アルジェリア政府の対応.....	1
(3) 各国援助機関、国際機関、NGO等の対応.....	2
2. 活動内容.....	5
(1) 派遣までの経緯.....	5
(2) 派遣目的.....	5
(3) 活動概要.....	5
(4) 活動記録.....	6
3. 特記すべき事項.....	12
4. 活動報告.....	12
(1) 医療活動総括ー診療分野ー.....	12
(2) 医療活動総括ー公衆衛生分野ー.....	13
(3) 医療班報告.....	14
(4) 看護班報告.....	18
(5) 薬剤班報告.....	25
(6) 医療調整班報告.....	26
(7) 業務調整班報告.....	27
5. 総括.....	32
添付資料	
1. 隊員リスト.....	35
2. 携行機材リスト.....	39
3. 活動報告書(先方保健省に提出：含む・公衆衛生チラシ(仏・アラビア語)、 トイレ関連資料、キャンプ内概要図).....	53
4. 診療データ.....	75
5. ムスタファ病院視察報告書.....	79
6. 薬剤リスト.....	85
7. チーム・テント配置図.....	93

1 災害概要

(1) 災害状況

アルジェリアにおいて5月21日19:44（日本時間22日03:44）、首都アルジェ東方50kmのブーメルデス（Boumerdes）県を震源に、深さ約10km、マグニチュード6.7の地震が発生し、アルジェ県、ブーメルデス県などに甚大な被害が生じた。6月1日現在、死者2,268名、負傷者10,147名、家屋喪失約200,000人となっている。（内務省発表）

具体的な社会インフラの被災状況は次の通り。（OCHA report No.9）

- －住宅関連：集合住宅等建物214棟、個人家屋1029棟が倒壊
- －保健施設：被災地域においては40～50%が倒壊
- －水・衛生施設：185の被災民キャンプのほとんどで需要を満たしていない
- －教育施設：699の教室が倒壊あるいは半壊

(2) アルジェリア政府の対応

5月22日、ブーテフリカ大統領が現地視察を行ったうえ、災害対策委員会を招集し、首相、内相等の指揮下、捜索・救助活動を展開。同日06時30分、デュンリル内務省次官、シュルハ同省官房長より在アルジェリア今村臨時代理大使に対し国際緊急援助隊等の緊急支援の要請があり、同23日、同国政府より日本に対して国際緊急援助隊医療チームの派遣について要請があった。

同国政府による具体的な災害対応の内容は次の通り。

- 1) アルジェリア当局は被災住民に対して9000戸（アルジェ：11キャンプ地／5000戸、ブーメルデス：24キャンプ地／4000戸）のプレハブ住宅建設について契約。（No.9、6/23）
- 2) ブーメルデス市防災局（Civil Protection of Boumerdes）がOSOCCとのリエゾン役となり、各援助機関を調整。（No.8、5/28）
- 3) 住居を失った被災者をキャンプへ移送。5000張りのテントを設営。3万～4万人の政府職員及び1万人軍隊が援助活動に従事した。（同）
- 4) 援助物資の配布は防災局及び赤新月社により適切に配布されている。（by UNDAC、同）
- 5) 建築物の点検作業を実施。200名の技術者を投入。緑十字マーク＝居住可、オレンジ十字＝要修復、赤十字＝要取り壊し。（同）
- 6) 海外からの援助受入に際し、首相府、外務省及びアルジェ県知事室の3箇所に調整センターを設置。空港内、防災総局（General Directorate of Civil Protection）、ブーメルデス県防災局にオペレーションセンターを設置

(No. 4、5/23)。

- 7) 赤新月社、防災局、Muslim Scout の3機関を援助物資管理所管機関とする。(No. 5、5/24)
- 8) 協同省 (Min. of Solidarity) 及び保健省が食事の提供及び精神・心理的なケアを行う。(同)
- 9) 震災被害者 (死亡者) 1人につき70万ディナール (約110万円) を支給。(同)

(3) 各国援助機関、国際機関、NGO 等の対応

<人的援助>

1) フランス

- ・初期支援として、救助隊員110人、災害救助犬13匹、被害者捜索のための資材10トンを派遣。
- ・第二弾として現地に10-12日間滞在するボランティア27人、災害救助犬2匹、援助物資5トン (自動車、除去作業用資材) を派遣。
- ・マルセイユ水道局が被災民キャンプの給水施設の改修等の支援実施。
- ・フランス・テレコムがゼムリの被災民キャンプ内で衛星回線を使用したテレコム・センターを開設し被災民、NGO、アルジェリア当局関係者に対して通信サービスを提供。

2) 英国

消防士など60人の救助チームを派遣。

3) ベルギー

救助専門家チーム、災害救助犬6匹を派遣。

4) イタリア

消防士などから成る救助チーム、災害救助犬を派遣。

5) ポルトガル

30人の救助チーム、災害救助犬を派遣。

6) ギリシア

救助チームを派遣。

7) ロシア

57人の救助チーム (うち医師24人) と医薬品1トンを派遣。

8) モロッコ

45人の救助チーム、

9) チュニジア

医師18人、一日当たり患者40-50人の診療が可能な仮設診療所を派遣。

- 10) リビア
医師チーム(含・医薬品)を派遣。
- 11) 南アフリカ
医師チーム(含・災害救助犬、探知装置)を派遣。
- 12) 国連
救助チームを派遣。国連災害評価調整(UNDAC)チームを派遣。
- 13) 世界保健機関(WHO)
WHO アフリカ地域事務所が専門家チーム(含・医薬品)を派遣。
- 14) 国際赤十字社・赤新月社連盟
被害状況把握のため調査チーム。
- 15) ドイツ赤十字
救助チームと災害救助犬を派遣。
- 16) 仏赤十字
仏赤十字メンバー17人を派遣。
- 17) NGO「世界の医師団」(MDM)
医師2人、ロジスティクス担当者一人を含む緊急チームを派遣(含・医薬品)

<資金援助>

- 1) 米国
USAID(米国国際開発庁)を通じ、アルジェリア赤新月社に5万ドルを寄付。
- 2) カナダ
国際赤十字社・赤新月社連盟に20万カナダドル(14万6000米ドル)を寄付。
- 3) 欧州連合(EU)
欧州委員会が仮設診療所や医薬品の送付、飲料水供給などのために100万ユーロを寄付。
- 4) フランス
・リヨン市は赤十字に対し1万5000ユーロを寄付。
・仏開発局(AFD)を通じ、復興費用として3000 5000万ユーロを融資。
返済期間は20年間で年利率2.5%。
- 5) デンマーク
4万ユーロ拠出
- 6) ノルウェー
資金援助5万ドル拠出
- 7) 国連

国連人道援助調整事務所 (OCHA) を通じて 5 万ドルを緊急融資。

- 8) 国連児童基金 (UNICEF) フランス
5 万ユーロを寄付。
- 9) 国際赤十字社・赤新月社連盟
15 万 4000 ドルを寄付。
- 10) 仏赤十字
生鮮品購入のため 10 万ユーロを融資。
- 11) ドイツ赤十字
輸送費 12 万 5000 ユーロは独外務省が負担。

<物資援助>

- 1) 米国
USAID (米国国際開発庁) を通じ、毛布 6000 枚、テント 600 張、医薬品 (被災者 3 万人を対象に 3 カ月分) を送付。
- 2) 欧州連合 (EU)
欧州委員会が仮設診療所の提供や医薬品を送付
- 3) フランス
・援助物資 5 トン (自動車、除去作業用資材) を派遣。
・エールフランスは、毛布数トン、死体袋 2000 枚、救助犬用輸送ケージを輸送するための特別機を貸与。
- 4) ベルギー
援助物資
- 5) イタリア
仮設医療所用テント、医薬品、援助物資、オフロード車、テント 2280 張、毛布 6000 枚などを供与。
- 6) ギリシア
テント、飲料水、毛布、食糧
- 7) ロシア
医薬品 1 トンを派遣。
- 8) モロッコ
毛布 1 万 5000 枚、テント 1000 張、食糧、医薬品
- 9) モーリタニア
毛布などを送付。
- 10) リビア
洋服、毛布、テント、食糧
- 11) 南アフリカ
援助物資

- 12) 赤道ギニア
食料1000トン(コメ、イワシ、オリーブ油、牛乳、ミネラルウォーター、バナナ、キャッサバ、パイナップル)
- 13) 国連児童基金 (UNICEF) フランス
被災者4万人を対象に3ヵ月分の生活必需品(毛布1000枚、牛乳7000リットルなど)
- 14) 国際赤十字社・赤新月社連盟
被害者4万人に一日当たり60万リットルの飲料水を供給。
- 15) 仏赤十字
保健、通信、飲料水化用資材を送付。被災者1万人分の毛布、テント1100張を送付。貯水池設置などを通じて被災者7万人に飲料水を供給。
- 16) ドイツ赤十字
援助物資15トン、寝袋、テント、毛布、医薬品、オフロード車一台を送付。
- 17) NGO「Handicap International」
医薬品と衛生設備を供与。アルジェから40キロの地点で包帯の生産を開始。杖、松葉杖、首サポーター、腹部サポーターを送付予定。

2 活動内容

(1) 派遣までの経緯

5月22日外務省はアルジェリア国政府からの要請を受け、5月24日に財務省との協議を経て、同日、国際緊急援助隊医療チームの派遣を決定し、JICAに派遣を命令した。

(2) 派遣目的

アルジェリア国地震災害における人的(肉体的、精神的)被害の軽減

(3) 活動概要

1) 派遣期間：平成15年5月25日から6月7日まで(14日間)

2) チーム構成(計22名、別添1：隊員リスト参照)

団長	1名(外務省)
副団長	2名(医師、JICA)
救急医療	3名(医師)
チーフナース	1名(看護師)
救急看護	6名(看護師)
薬剤管理	1名(薬剤師)

医療調整員 2名 (救急救命士)
業務調整員 5名
評価 1名 (外務省)

3) 携行機材 (別添2: 携行機材リスト参照)

医薬品、医療資機材、通信機器等

4) 活動サイト

首都アルジェより東方60kmのブーメルデス県ゼムリ (Zemmouri) 市中心部のサッカースタジアムの被災民キャンプ内。救助チームの活動サイトの南東5.6kmに位置する。

ゼムリの診療所 (Polyclinic) が地震により機能不可となったため、右機能を補完すべく、同キャンプ内で仮設のテントを設け被災民に対して診療活動を展開した。

(4) 活動記録

5月25日 (日)

21:55 成田発 (日本時間)

5月26日 (月)

04:15 ドゴール空港着 (現地時間)

05:25 到着ラウンジにてミーティング
自己紹介

09:00 出発ラウンジにてミーティング
評価の必要性とデータの収集の重要性
現地での診療体制の検討

13:40 ドゴール発

14:30 アルジェ着。今村参事官、久保企画調査員、大友調整員ほか出迎え。

14:45 レセプションセンターにてアルジェリア側担当者との面会。特にOSOCCには登録等なし。アルジェリア側保健省から本チーム担当としてDr. ベンチコ氏 (保健省アルジェ地域担当職員) の紹介を受ける。

15:15 小林団長、朝日副団長、坂田副団長、金沢看護師が活動サイト、ゼムリ現地視察。保健省国際局長 Dr. ベンチコ同行。

16:55 サイト着。サイトでの聞き取り結果は以下の通り。現地ではゼムリ病院長 Dr. ウワリーが説明。

ゼムリの病院が倒壊し機能していない状況

ゼムリ中心部のサッカースタジアムに応急対策としてキャンプ (ゼムリ病院から徒歩5分) をセットアップし、その中で

被災者の診療をしている。明日までにキャンプ地の整備は完了する予定

患者の想定数は250人/日。現地医師11人がシフトを組んで24時間体制で診療

水、食料は足りている

後方病院としてはブーメルデス救急病院での対応が可能。キャンプ地には常時救急車1台あり。

電気については、照明以外は提供不可。日本チームの医療機器に関しては独自に発電機による対応が必要

トイレを視察したところ、糞便が便器より溢れ、未処理のまま放置されている状況であり、衛生上の問題をチームより指摘し、改善を求めたところ、メンテナンス担当の軍部が対応しておらず、保健当局としても手が回らない状況とのこと。

日本チームの診療時間帯は08:00-16:00か10:00-18:00を希望するが、基本的には日本チームの都合で活動してもらって差し支えない。

日本チームの医療テントと資機材については警察等のセキュリティーを配置するので、活動期間中は放置したままで問題なし。

18:30 サイト発

19:45 ホテル着

20:00 ミーティング

5月27日(火)

08:30 ミーティング

全員で医療テントセットアップ

セットアップ次第、診療開始

トリアージ体制確認

カルテ記入要領説明、確認

09:20 ホテル発

09:20 大使館着。医療チーム用資機材トラック確認

10:00 大使館発

11:30 サイト着

5/26にキャンプサイト責任者 Dr. ウワリーに対し本チーム専用で一定区画(最低12m×12m)の確保を依頼したものの、サイト到着時には確保されておらず、改めて依頼。サイト確保までの間、アルジェ側医療テント、薬剤テントを視察。並行してロジ班は隊員用休養テント(一部倒壊したズムリ病院敷

地内) の設置、簡易トイレの設置及び昼食の準備。

- 12:45 サイト確保
Civil Protection Office のキャンプサイト責任者より本チーム用のテント設置場所の提示があった。場所、広さともに問題なし。
- 12:55 テント設営開始。一部隊員は引き続き休養テント及びトイレの設置。
- 16:30 テントのセットアップ完了。
- 17:04 診療開始。3名を診療。
- 18:00 診察終了
- 18:05 サイト発
- 18:10 帰路、ゼムリ内を走行中かなり大きな余震があり、車両真横の半壊建物が全壊。(別項にて詳細説明)
- 19:50 大使館着
- 20:00 レスキュー残置機材の積み込み
- 21:40 大使館発
- 22:00 ホテル着
- 22:26 小林団長、富岡医師、山畑医師、金沢看護師、中村看護師、渡邊薬剤師、東出医療調整員、三木医療調整員、中沢調整員、前林調整員、大野調整員、通訳3名、大使館セキュリティー4名、ドライバー4名(うち大使館ドライバー2名)によりホテル発。
- 23:40 サイトに無事到着。キャンプサイトは特段混乱した様子はなく、チームは診療用照明の設置等を終え、24時頃診療を開始、28日04:30現在、7名の患者を診療した。被災による救急負傷者の多くはアルジェ及びブーメルデスの医療機関に搬送されているとのこと。5月28日の診療体制については、夜間診療に従事した隊員は休養とし、残りの隊員で診療活動を行う。

5月28日(水)

本日は、昨夜からの徹夜隊員(山畑医師、中村看護師、三木及び東出医療調整員、中沢及び前林業務調整員)はホテルにて休養することとした。(富岡医師、金沢看護師、渡辺薬剤師は現地休養所にて適宜休憩。)

- 07:50 ホテル発
- 08:05 大使館着。救助チームからの引継機材をピックアップ。昨夜借用した救助チームの照明機器を三木調整員がキャンプサイトより持ち帰り、本日日本へ返送予定の救助チーム用機材に返却
- 08:10 大使館発
- 09:35 キャンプ着。山畑医師、中村看護師、東出、前林、中沢調整員は

- 休養のためホテル帰還
- 昼食 適宜、手の空いた隊員から昼食（携行食）
- 13:30 （小林団長、朝日医師、坂田副団長）医療、水、衛生分野の救援に関わるドナー会合へ向けてキャンプ発。
- 14:00 （同）ドナー会合出席のため場所であるブーメルデス Civil Protection Office 着。しかし、開催予定であったドナー会合は結局行われず、集合していた ECHO アルジェ事務所代表、スペイン及びベルギーの NGO、南アフリカチーム（軍）、ギリシャチームとの情報交換を行った。
- 14:50 （同）Civil Protection Office 発
- 15:30 （同）ブーメルデス救急病院にて、救助チームが救出したラドワン・ナレムワジさんのお見舞い
- 16:00 （同）同病院発
- 16:20 （同）キャンプ着
- 17:30 キャンプ発
- 19:00 ホテル着
- 19:30 ミーティング
- 5月29日（木）
- 07:50 ホテル発
- 08:50 キャンプ着
- 09:25 診療スタート
- 12:00 午前診療終了
- 昼食 適宜、手の空いた隊員から昼食（現地調達、手作りサンドイッチ）
- 13:20 午後診療スタート
- 16:00 午後診療終了
- 17:10 キャンプ発
- 18:44 大使館着。今村参事官より招待を受け、チーム全員で参事官宅にて夕食）
- 21:40 大使館発
- 22:00 ミーティング
- 5月30日（金）
- 07:40 ホテル発
- 08:50 キャンプ着
- 09:10 診療スタート
- 12:00 昼食
- 13:15 診療スタート

16:50 診療終了
17:20 キャンプ発
18:40 ホテル着
18:50 ミーティング

5月31日(土)

07:40 ホテル発
07:50 ホテル発(小林団長、朝日副団長、坂田副団長)
08:25 大使館にて打ち合わせ(同上)
09:00 大使館発(小林団長、朝日副団長)
10:30 大使館発(今村参事官、山田書記官、坂田副団長)
11:00 ドナー会合出席(同上)
12:00 昼食
13:15 診療スタート
16:50 診療終了
17:10 キャンプ発
18:20 ホテル着
18:30 ミーティング(日本大使館今村参事官、山田書記官、久保企画調査員出席)

6月1日(日)

07:30 ホテル発
08:20 ホテル発(坂田副団長)
08:40 サイト着
09:00 UNDP 事務所にてUNDAC マネージャーと情報交換(坂田)
09:10 診療スタート
10:40 UNDP 発(坂田)
12:30 昼食
12:10 ホテル着(坂田)
13:10 診療スタート
16:30 診療終了
16:55 キャンプ発
17:30 住民による交通妨害に遭遇
19:30 交通妨害終了
20:00 ホテル着
20:10 ミーティング

6月2日(月)

07:35 ホテル

09:05 サイト着
09:10 診療スタート
12:00 適宜昼食
13:10 診療スタート
15:00 診療終了
16:00 キャンプ発
17:30 ホテル着
19:00 ミーティング

6月3日(火)

07:40 ホテル発
08:50 サイト着
09:10 診療スタート
12:00 適宜昼食
13:10 診療スタート
15:10 診療終了
16:00 キャンプ発
17:40 ホテル着
17:50 ミーティング

6月4日(水)

07:40 ホテル発
08:45 サイト着
09:05 診療スタート
12:00 適宜昼食
13:10 診療スタート
15:20 診療終了
16:20 キャンプ発
16:40 救助チームサイト視察
18:05 ホテル着
19:05 ミーティング

6月5日(木)

08:15 ホテル発
09:40 キャンプ着。撤退作業開始。(テントは撤去不要)
11:30 撤退作業終了
 昼食
13:00 総括ミーティング
14:00 機材引渡し式、活動レポート提出

- 15:15 キャンプ発
16:30 ホテル着
19:00 通訳、運転手、セキュリティー、大使館関係者（含む大使）とともに夕食会

3 特記すべき事項

- (1) 被災民に対する中長期的視野に基づいた支援としての公衆衛生の取組み
生活インフラへのダメージは上下水道の不十分さなどを引き起こし、衛生状況の悪化とそれに伴う感染症の拡大の可能性を有している。このような問題に対する取組みとして日々の忙しい診療活動のかたわら、公衆衛生に対する掲示板を利用した啓蒙活動や公衆トイレ建設に関する関係機関への働きかけを実施した。
- (2) 公衆トイレ：
ゼムリ地区の衛生状態が悪化していたため、あらゆる機会を捉えて日本チームはブーメルデス県知事等に対しトイレ設置を訴えた結果、6月1日よりブーメルデス県当局によるトイレ建設が開始された。
- (3) 松阪消防の救急救命士2名が初めて医療調整員として参加
これまで国際緊急援助隊への積極的な貢献の検討を進めてきた松坂地区広域消防組合本部は、今回の地震発生直後から2名の派遣が可能な体制を確保し、2名の救急救命士が医療調整員として初めて派遣されることとなった。
- (4) 神戸学院大学人文学部前林教授が業務調整員として参加
JICA 職員を含む関係者を講師陣として開講している神戸学院大学人文学部の「JICA 講座」の担当である前林教授が業務調整員として派遣され、同教授の体験を通じた今後の「JICA 講座」のより一層の充実が期待される。

4 活動報告

- (1) 医療活動総括－診療分野－
ア 我々はゼムリのスタジアム内の被災民キャンプに診療所を開設した。キャンプ内には130世帯以上が生活し、医療チームのみならず警察や防災当局などの多くの組織が活動していたが、対策本部は見当たらず、調整

会合も開かれない状態であった。キャンプ内の各救援チームが集まって定期的な調整会合を組織すること、同様に県レベルでも調整会合を開催することを提言する。

イ 我々は直接震災に起因する外傷傷病者、急性疾患の傷病者及び慢性疾患の傷病者等を診療した。我々も同キャンプ内に設置されたアルジェリア側診療所もこれらの疾患に対応する能力は十分に持っていた。しかし同時に傷病者の中には震災に関連した眼や皮膚の症状を訴える者も多く、キャンプ内や近隣に専門家がいなかったため、紹介転送等を行うことができなかった。眼科や皮膚科の専門医を診察機器と共に適所に配置することを提言する。

ウ 当初、多くの傷病者は不眠、不安等の精神的症状をもあわせ持っていた。アルジェリア側診療所に当初より精神科医が配置されていたことは賞賛に値する。これに加え小児精神科医を可能な限り早期より配置することを提言する。

エ 我々は糖尿病、高血圧、関節リウマチ等の慢性疾患の傷病者も診療した。これらの慢性疾患は長期に渡り診療を継続することが必要である。慢性疾患を継続して診療する体制を更に拡充することを提言する。

オ 我々はいくつかの団体から医薬品の寄付を受けた。そのような自発的活動がなされていることは賞賛に値し、寄付を受けたことに感謝の意を表す。しかし、多くの場合、組織化された活動は行われておらず、しばしば緊急時には必要のない医薬品も含まれていた。緊急時に供給する医薬品を国際的ガイドライン（WHO、UNHCR、ICRC などから出されている）に従って準備し、組織化して配布することを提言する。

カ 今後も、被災者が常に医療サービスを受けることができるように適切な方策を続けられることを希望する。

(2) 医療活動総括-公衆衛生分野-

ア 当初からキャンプ内では十分な量の清潔な飲料水とパンは届けられていたが、生活用水はまったく不足していた。良好な健康状態を保つためには、生活用水は欠かすことができないものである。発災直後より十分な量の生活用水を供給することを提言する。

イ 当初からキャンプ内で初期医療が供給できる体制が整えられていたことは賞賛に値する。しかし緊急時におけるプライマリー・ヘルス・ケアに関しては考慮されていなかったように感じられる。我々は診療と並行して、ポスターやチラシを用いて個人衛生や環境衛生についての啓蒙を行う努力をしてきた。発災直後より緊急時におけるプライマリー・ヘルスケアをいち早く展開することを強く提言する。

- ウ 可能な限り早急にラピッド・ヘルス・アセスメントと同時に疫学的調査を行うことを強く提言する。これらは緊急時において必須のものである。いずれも WHO や UNHCR から出されているプロトコールに則って行われることが望ましい。
- エ 我々は急性の呼吸器症状を伴って来院した傷病者には医療用マスクを配布した。医療用マスクを用いることにより急性呼吸器疾患の蔓延を防ぐことができる。急性呼吸器疾患の蔓延を防ぐため、医療用マスクを適切に配布することを提言する。
- オ 警察や防災当局、軍隊、医療スタッフの健康問題についても忘れてはならない。これらの救助スタッフの健康状態について、身体面でも精神面でも、注意を払っていただけよう希望する。
- カ ヘルス・コーディネーターを育成し、プライマリー・ヘルス・ケア・プログラムを実行に移せる用に彼らを配置することを提言する。

(3) 医療班報告

医師四名で診療にあたった。各医師専門分野は、脳外科（朝日）・小児科（永井）・救急（山畑、富岡）であったが、四名とも、それぞれ国際医療貢献の経験をもち、公衆衛生の知識を持ったメンバーであったため、当初より、診療と平行して公衆衛生活動も行った。

<活動内容>

診療時間は当該地域の安全性、および宿舎からの所要時間を考慮し、午前9時から午後4時とした。勤務シフトにより、四人の医師が3診ないし4診体制で診療を行った。

活動1日目（5月27日：発災7日目）受診者4名

チーム全員でサイトとして選定されたゼムリのサッカースタジアムに設置された被災民キャンプに入った。テント設営用の区画の整備に時間を要し、第1日はほぼ診療テント設営と診療準備に時間を費やし、傷病者数は4名であった。

キャンプ内にはアルジェリア側による診療所が1か所設置されていたが、医療のニーズを満たすには十分ではない様子であった。警備担当者はキャンプ内に相当数が待機しており、診療の安全は確保されていた。

夜間診療（5月27日 28日：発災7日目）受診者7名

1日目の帰途、相当規模の余震が発生した。発災直後は現場が相当に混乱していたため、一旦全員がアルジェまで帰り、大使館とも協議の結果、傷病者の発生および診療所への来院に備え、夜間診療を行う方針とし、チームの半分が再度サイトに向かった。

診療所には当日の深夜着。山畑、富岡の医師二人は診療所に待機し、夜明け（午前5時頃）までに7名の診療を行った。被災による救急負傷者の多くはアルジ

ェ及びブーメルデスの医療機関に搬送されているとのことであった。午前7時頃から診療を希望しての来院者が増加してきたため、診療所を通常の体制で開院した。

活動2日目（5月28日：発災8日目、余震2日目）受診者120名

午前9時35分、朝日副団長、永井が診療所に到着した。山畑はホテルで休養、富岡は休養をとりつつ継続して診療することとした。午後にブーメルデス県庁で開催が予定されていたドナー会合に朝日副団長が向かったが、会合は予告なくキャンセルされ、集まった国際機関、海外からの救援チームとの情報交換に終わった。その帰途、ブーメルデス救急病院に立ち寄り、救助チームが救出したラドワン・ナレムワジ氏を訪問した。足部が壊死をおこしており、切断を要する可能性があると考えられた。午前7時から午後4時までの診療で120名が受診した。受傷直後で処置を要する外傷傷病者の来院は少なく、打撲程度の外傷、および不眠、倦怠感等の精神症状を訴える傷病者が目立った。携行医薬品内に精神安定剤が含まれていないため、抗ヒスタミン剤を代用薬として用いた。スタジアム内にアルジェリア側による精神科診療所が設置された。

活動3日目（5月29日：発災9日目、余震3日目）受診者192名

終日3診体制とし、4人目の医師はトリアージおよび軽症者に対する処方を行った。疾患として前日の傾向に加え、脱水、ストレス性胃腸炎、日焼けなどが散見された。活動3日目にして使用頻度が多いために残数が少ない薬剤が出始め、不眠等の精神的症状に対する薬剤の必要性も痛感された。

活動4日目（5月30日：発災10日目、余震4日目）受診者233名

午前、午後を通じて4診体制により233名を診療した。その他、依頼による往診1名あり。前日と同様に精神的ショックに起因する受診が多かったが、余震4日目を迎え、復興による外傷傷病者も若干名来院するようになった。日焼け、あせもに加え、ダニ、南京虫等による虫刺も散見された。金曜日（注：イスラム教徒はモスクにお祈りに行く）のため、午後の診療開始直後、一時的に受診者がいなくなった。永井がキャンプ地全体の視察を行った（先方に提出した報告書添付のキャンプ見取り図参照）。

公衆衛生的アプローチの一環として、クリニック正面に住民啓発用の看板を掲げた。内容は、以下の通り。

きれいな水で手洗いをする

積極的にうがいをする

咳が出ている人はマスク、もしくはタオルで口を覆う

清拭するなどして、皮膚を清潔に保つ

発熱・咳・下痢などがあればすぐに医療機関を受診

活動5日目（5月31日：発災11日目、余震5日目）受診者244名

疾患としては前日までの傾向に加え、明らかに住居環境の悪化、強い日差し、不潔な手肌による症状の患者の増加を認め、更なる公衆衛生普及活動の強化の必要性を認めたため、被災民に対して保健衛生チラシの配布することを検討することとした。発災11日目に至ってもキャンプ内では救援関係者間の調整会議はおろか医療チーム間の会合すら計画されず、個々の情報交換に頼るしかなかった。県や国レベルでの援助機関のコーディネーションミーティングや行政からの組織的介入も見られなかった。UNICEF 寄贈のテントが設営され、アルジェリア側から小児科医が常駐する模様であった。

活動6日目（6月1日：発災12日目、余震6日目）受診者225名

本日より医師4名中1名が休むローテーション体制となった。前日の帰路で道路の封鎖があり、隊の安全に鑑み診療終了時間を1時間繰り上げることとなった。受診傾向として再診患者が増加してきた。ダニ、シラクモなどの皮膚感染性疾患が増加し、隊員の健康・安全管理への配慮も必要アルジェリア医療チームのテントでワクチン接種が開始された。内容はBCG、DPT、ポリオ、B型肝炎。本日は「子供の日」であり、UNICEF 主催で小児の精神的ケアのためのバレーボールが行われていた。

活動7日目（6月2日：発災13日目、余震7日目）受診者197名

活動8日目（6月3日：発災14日目、余震8日目）受診者196名

ここ数日の疾患傾向にほぼ同じであった。受診理由も震災による急性疾患から、震災前からある慢性疾患に移行してきた。小児科にアタマジラミの患者が4名（疑い含む）来院した。永井がアルジェ市内のムスタファ大学病院を視察した（詳細は別添4：視察報告書参照）。

活動9日目（6月4日：発災15日目、余震9日目）受診者名

翌日の撤収および資器材供与に備え、本日が終診日となった。3名の医師により通常の開院時間で診療し、活動中の受診者はのべ1623名となった。

ゼムリ市内で医療のニーズが高かったこと、および地域の安全性に鑑み、別働隊は作らずにキャンプ内で診療を継続した。

活動10日目（6月5日：発災16日目、余震10日目）撤収日

本日は診療を行わず、撤収のみ行った。資器材全般についてはアルジェリア保健省に、医薬品についてはキャンプ内のアルジェリア側診療所に引き渡された。

<教訓・提言>

まず、今回の派遣では、緊急援助隊始まって以来の終夜診療を行った。診療記録にも記したように、初日にサイトを設営し、宿舎に帰る途中で激しい余震におそわれ、多数傷病者が予想されたため、サイトに引き返し、終夜活動した。

このことには、安全確保の面などからは異論もあると思われるが、あえてこ

の診療を行った立場から述べるならば、ある程度のリスクがある中に、敢えて引き返して診療を行ったことにより、われわれのチームは、活動当初から、現地の人々や現地の医療スタッフの信頼を勝ち得たという点を強調しておきたい。

また、数は少ないが、今までの緊急援助隊ではほとんど診療できなかった、急性期の外傷患者を治療することもできた。更に、安全確保についても、100%はあり得ないにしても、一旦首都に引き返し、大使館で保安のための機材、スタッフを揃えて再度現地に向かうなどの配慮を行っている。ただし、明確なルールに従って活動したわけではないことは否定できず、今後の緊急援助隊派遣においても同様のことが起こりうることを考慮すれば、今回のわれわれの活動を参考に、このような事態への対処方法は考えておく必要があると思われる。

次に、今回は活動当初から、診療に加え、手洗いの重要性、うがいの重要性などの公衆衛生知識を現地語で書いたパンフレットを作成して配布し、また、キャンプの公衆衛生上の問題点を現地政府に進言したり、キャンプ周囲への殺虫剤撒布を行ったりといった、公衆衛生の見地に立った活動を行った。更に、医療班が直接関与したわけではないが、チームとして、仮設トイレの建設を促すことができた。これらの活動は、緊急援助が現地の健康状態に与えるインパクトとその持続発展性を考え得るうえできわめて重要であり、今後も緊急援助隊の活動の重点項目とすべきであろう。

また、医療班の中に、二人の救急救命士が参加した意義は大きかった。救急救命士2名は、プレホスピタルの状況に慣れていること、現場トリアージに慣れていること、バイタル測定とその重要性を理解していること、それにテントの設営などの救助活動にも長けており、今回もチーム活動の中で非常に重要な役割を果たした。今後も、救急救命士はもちろんであるが、さまざまな医療職の参加を進めていくことで、更に緊急援助隊の活動の幅が広がるものと思われる。

一方、診療録（カルテ）の様式や、集計方法が必ずしも災害現場に沿ったものではなかった点（症状と診断が混在している。記載方法が統一されていない。再診の扱いをきちんと決めていないなど）、持参した薬剤が必ずしも現地のニーズにあったものではなかったこと（目薬、湿布、皮膚病薬などが極端に少なかった。）などは問題点としてあげられる。

特にカルテに関しては、何のために記載するのか、どのように記載するのか、どのように整理するのかはメンバー全員のコンセンサスを得ておく必要がある。

また、薬剤についても、残薬を供与するのであれば、特に国産に固執する必要はなく、むしろ英文や現地語の説明書がある薬剤のほうが望ましい。これらは今後、各タスクフォースで早急に話し合われるべきであろう。なお、これらの問題点については、実施・評価報告書において、今後の対応を含め報告され

る予定である。

(4) 看護班報告

看護師7名と医療調整員(救急救命士)2名が受付3名、診療介助(一般科、小児・婦人科)2~3名、薬局1~2名、余裕があればフリー1名を配置し、8日間の活動を通して1日平均約200人の患者を医療調整、業務調整の協力と連携のもと円滑に診療することが出来た。

看護班の活動を通じての全体的教訓・提言は次の通り。

<情報面>

教訓：

-現地側との事前の協議により診療サイトを決定したが、当日は被災者テントの移動に時間を要して診療所の開設が遅延した。

-活動サイトに隊員用の休憩場所が確保できず、少し離れた地元ゼムリ診療所の庭に休憩場所、女性用トイレを設置した。

提言：

-サイト選定時は数箇所の候補地を選定し、早朝からの診療所の開設が可能で出来る限りトイレの使用が可能な場所を検討していきたい。

<要員面>

教訓：今回よりチーム編成上、チーフナースが配置されたが、その求められる役割や具体的なT/Rが不明瞭であったこともあり、若干、管理面で困難が感じられた。

提言：チーフという立場に関しては、個人の資質にも関連するので、管理者としてチーフナースを配置するのであれば、ある程度指導・管理経験のある看護管理者を配置するのが適当。中級もしくは上級研修としてカリキュラムの中に設けてはどうか。

<資機材面>

教訓：

-今回、初参加も多かったが、空港での機材通関、引渡しに時間を要し、ホテルでの資機材のチェックが出来なかった。サイトで診療所を設置した際、エアーテントのエアー漏れも発生し、応急処置の後、開設まで数時間を要した。

-地震災害による眼科、耳鼻科疾患も多く診られ、今回個人持参の目の洗浄ボトルが有効であった。

提言：

-被災国到着時間にも関係するが、活動が円滑に行われるようにホテル内で資機材のチェックを行った方が効果的と考える。エアーテントについては、他部門で報告のため省略。

-災害の種類による疾病構造を考慮して資機材のオプションを今後も検討していただきたい。

<治安・安全面>

教訓：

-診療所開設初日に最も大きな余震があり、バスの目前で建物が倒壊し二次災害の危険性があった。余震による被害から急遽夜間診療を開始することになったが、治安の悪いアルジェリア国で夜間に移動し診療を行う必要性があったのか。今後も夜間診療を行っていく可能性が前例として出来たと考えるのか。

-診療終了後の帰路に一部住民による道路封鎖のためにバスの移動が困難となり、バスに缶詰状態となった。警察による催涙弾の使用の可能性もある中、事無きをえてバリケード解除に至ったが、この為による時間のロスと疲労が大きかった。

-活動中、隊員の多くが咳をし、1名が発熱で急遽ホテルに戻り休息をとることとなった。環境的には寒暖差があり、脱水への配慮が必要であった。

提言：

-地震災害の救済であることを常に理解し、倒壊しやすい建物の近くに立ち寄らない、二次災害発生時の対処方法について事前にチーム内で方針、対処方法について共有する必要がある。

-夜間診療は行わない方針が研修で出ており、隊員個々の安全や健康に配慮した体制の確立が重要と考える。看護サイドからは夜間の診療については是非について意見が出され、中級研修の安全面での研修効果が十分に示された。

-治安の悪化した状況を考え、隊員個々の危機管理のあり方について見直す必要があると共に自覚ある行動を取って頂きたい。これに関しては外務省、JICA職員も同様と考える。

-周囲への配慮から遠慮がちとなりやすいが、隊員個々の健康管理については個人個人が自覚ある行動をとり、自分の健康管理に十分注意する必要がある。また、早期に休息を取るように心がける。

看護班各担当ごとの活動詳細及び教訓・提言等は次の通り。

ア. 受付

<活動内容>

受付テントにおける人員配置としては、待合に業務調整員1～2名を配置し、患者整理、身体測定を行った。バイタルサイン（血圧、脈拍、体温等測定）、トリアージは医療調整員（救急救命士）1名、看護師2～

3名が担当。カルテの初期間診は通訳2名に依頼。

待合入口周辺では、患者は日中猛暑のうえに長時間待ちとなるため、タープで日陰を作り水を配るなどして脱水に対処した。

診療時間は連日多数の患者が殺到したために超過することが多く、9時-12時、13時-16時とした。

受付時間については全体の流れを見ながら患者を受け入れ、診療終了時間にも配慮した。しかしながら、患者のニーズと急患の来院などから必ずしも時間どおりにはならないことの方が多かった。

また震災から日がたつにつれ、初期の外傷等の再処置、投薬切れによる継続治療や再診も徐々にみられるようになり、可能な範囲で優先診療を提供できるように心がけた。

今回は小児と女性の専用診療テントを開設できたことも考慮して、受付入口で男性と女性に患者を振り分ける工夫も行った。

受付内の物品配置等では、待合部分から診療までの導線を短縮し、流れを円滑にするため、テント内の配置や入口を変更するなどして混乱を避けるよう努めた。

トリアージについては看護師が担当し、数名の緊急患者の判別及び乳児、老人に配慮した優先診療を提供し、ニーズに応えた。

<教訓・提言>

○待合患者の整理

被災患者の殺到により一時的に混乱が見られた。一旦待合から出るように説明し列を整えた。午前中に診療し切れそうにない患者に対しては予約チケットを発行したが、逆にチケットの取り合いなど混乱が生じ良策ではなく、また、早期に午前の診療を打ち切る方策は、打ち切った最後の患者まで診察する羽目になり、午前終了予定時間が延長する結果となった。打ち切る時期・人数に判断を要した。

→ (提言) 入口を狭くして整列してもらい、割り込みを防止するために多くのボランティアの協力を得る。たとえば工事現場用のコーンや鉄筋&渡しヒモなどの整列路用の指示用品を揃える必要がある。なお、混乱した場合には、業務を一時停止し、一旦患者に待合から退出してもらった後に、再開する手立てを講じる。

○体温測定

ゼムリでは体温チェックの習慣が無いため、測定には体温計の本数、紛失、時間的な問題も含め不具合が生じた。これについては、洗濯バサミに体温計の表示をつけたものを作成し体温測定患者の判

別と紛失に対処し効果を得た。

→今後このような緊急現場においては耳式の体温計の使用が適切
と考える。

イ. 診療処置

<活動及び教訓提言>

1) 黄色いテント 2 3 診 (男性医師 2 3 名)

初めは女性・子供は白テントでの診察を考えたが、受診者のうち女性が多かったため黄色いテントでの診療も並行して行った。体を露出する等の場合スクリーン (カーテン) を使用しプライバシーの保持に努めた。イスラム圏であったが、考えていたほど診療時の問題はなかった。

医師についている通訳が男性のため、女性の診療時には出来る限り女性看護師がそばにつき安心して診察を受けられるように配慮した。毛布は何枚もあったが、シーツはスクリーン以外枚数が少なかった。女性は長いドレスを着用しているため、体幹の診療時はスカートを下から上げなくてはならず露出してしまう。シーツでカバーしたが無いときは毛布を使用した。日中テント内は30度近くになるため、暑さの点からもう少し配慮が必要であった。

主な処置は洗眼が多かった。頻回のため専用小さな防水シート付ガーゼを作成。スムーズな対応が出来た。外科的処置も少なく、資材の配置と導線の考慮、医師も協力的だったため、看護師1 2名の配置でも対応することが出来た。

精神的なフォローの必要な受診者が多く話を聞く等時間がかかるため、受診者が押し寄せた時、待合室が混雑した。

内科、精神的疾患が多く、あまり多くの資器材は使用せずにすんだ。

2) 女性用診療テント

小児科医師が参加していたため、黄色テントとは別に女性と小児専用の診療を行った。来院者数が多かったため、残念ながらすべての女性をこの診療テントで診察する事は出来なかった。医師・看護師・通訳の3名は女性のため、受診者は安心して診療を受けられたのではないかと思われる。わざわざこちらのテントでの診療を希望した人もいたが、こちらが気にしていた程、男女別という点でのトラブルにはならなかった。

疾患別では皮膚科・眼科疾患が多く、それに合わせた処置が多かった。特に眼洗浄の処置が多かったが、目だけでなく手も土や埃で汚れ

ていたため、洗浄後にきたない手でこすってしまう小児が多く、並行して手洗い・洗浄も行った。昼夜の気温差が大きいため、夜間に厚着をしたまま日中も過ごす女性や小児が多く、あせも・オムツかぶれが多くみられた。

集団生活＋不衛生な環境によりダニやしらみの感染患者も見られた。いずれも洗浄後に薬剤処置をおこなった。

水についてはホテルからポリタンクに水を入れてサイトへ行き、テント外に置いて太陽光で暖かくなった物を沐浴や洗浄に使用した。天候の悪い日は湯を沸かして使用するなど、少しでも気持ち良く処置を受けられるように配慮した。このような処置に加え、生活指導も並行して行った。通訳のアマル氏が生活指導の点までを細かく補足してくださった事は大きな力になった。少しでも清潔に過ごせる環境作りの必要性を指導した。

医師の持参したおもちゃや、現地調達ぬいぐるみなどで小児をあやす事もでき、良い雰囲気の中で診療を行えたと思われる。

プライバシーの配慮から、テント入り口にカーテンを付けた為、風通しが悪く、テント内温度は30℃近くに上昇した。暑さの関係からすべてのシートを締め切ることはできなかった。診察ごとにファスナーの開閉を行い対応した。西側はフェンスに面していたため開放にしていたが、たまに側溝の悪臭や人の気配があったことは欠点と思われた。暑さ対策の必要がある。

このテントですべての女性を診療できなかったのは残念であったが、少しでも女性の身になった診療ができたのではないかと思われる。

ウ. 公衆衛生

<ニーズ調査及び対策>

1) 今次医療チームから、診療サイトでの公衆衛生環境の把握及び改善が新たな活動のひとつとして位置づけられた。本チームはキャンプ内の公衆衛生環境について調査し、次の通り現状を把握するとともに当該活動のニーズを確認した。

- 地震による住居の喪失によって被災民は路上やテントで生活しており、生活・清潔習慣の変化がある。
- 500人以上いると予測されたゼムリ地区キャンプ内にあるトイレが質量ともに避難民のニーズを満たしていない。
- 降雨が少ないことによる空気の乾燥、地震による建物崩壊後のダストの増加がある。
- ごみ処理、下水処理等の整備ラインの不備より、ハエ、蚊、の発生

しやすい環境が生じている。

○小児において、気温に応じて適切に衣服により体温調節がなされておらず、清潔保持困難、皮膚トラブル、発汗、発熱、脱水等が生じている。

○地震によるショック、ストレスの精神疾患の患者が多く、精神、身体、両面から早急かつ、継続的なケアが必要と思われた。

○成人病の患者が多く、栄養の偏りがみられ、子供と女性の受診も多いため母子の栄養指導が必要と思われた。(筆盲が50パーセントという現状から予測される教育レベルの低さも要因の一部である。)

2) 上記ニーズを把握した後、公衆衛生班は次の通り対策を講じた。

○公衆衛生チラシの作成・配布

現地語とフランス語による公衆衛生チラシを撤収前に広く配布し、手洗い、うがいの励行、皮膚の清潔保持、直射日光を避けることなどを啓蒙した。

チラシはアルジェリアで公用されるアラビア語とフランス語で両面印刷とする。文字の読み書きができない人々に分かりやすくする為、挿絵をする。配布は受診時に患者全員に、また、キャンプ内の各テントに戸別訪問により実施した。余裕があれば、現地通訳を通じてより分かりやすく説明をする。(ただし、これらは、診療に差し障りのない範囲で行うことが、大前提である。)

○テント前正面に上記1)同内容の掲示板を提示

○受診時の直接指導

エ. 看護薬剤業務

<活動内容及び教訓・提言>

今回のミッションは薬剤師が1名であったため、業務フォローの形で毎日看護師一名が薬局に入り、薬剤師の指導を受け業務を遂行した。薬剤師が休日の日は前日に引継を行い、当日は看護師2名で業務を行った。

一日平均200名の投薬を行ったが、医師の助けも得て業務は滞りなく行えた。人員配置としては患者数から考えても、薬剤師一人では負担がかかりすぎるため、今回の看護師一人が入る体制は適切であった。

患者の中には上気道感染が多く、また公衆衛生の面からもうがいの指示が多く出された。小児にはその場でうがいのデモを実施しながら行い、母親がいれば一緒に指導を行った。

通訳不在時に備え、フランス語とアラビア語で投薬方法を記載した掲示板を作成し、その都度それを用いて対応した。しかし、字が読めない方も多く説明不足にもなるため、薬局には通訳が必ず1名いることが望

ましい。

オ. カルテ管理

<活動内容及び教訓・提言>

1) カルテのナンバリングは、通し番号（1症例1カルテ）とし、事前にナンバリングした。再診患者にも、その都度新しい番号を渡しカルテ端に「再診」と記入しておいた。カルテは受付で患者に渡し、診療終了まで本人が所持し薬局で回収を行った。処方がないケースは診察終了とともに診察室で回収した。ナンバリング記載ミスがあったため、カルテ使用前にも受付で番号を再確認するようにしたところ、その後特に問題は無かった。カルテ紛失等のトラブルもなかった。

→(教訓・提言) カルテのナンバリングは手作業のため慎重に行う。ナンバリング用のスタンプを使用してみればどうか。間違いも少なく作業効率も上がるのではないか

2) データ入力は、休養日に当たった職員が協力して行い延べ人数1623名に至った。当初カルテの記入もれが目立ったため、日々の診療分のカルテについて担当医師が当日中に再度目を通すようにした。その際入力作業がスムーズに行われるようカルテ記載は日本語で行うようにした。これにより、入力作業に特に問題は生じなかった。

→当初、データ入力は現場で、患者の診療と同時に行ってはどうかとの意見があった。しかし、現在のスタッフ数に余裕がなく、また塵埃の中・太陽光の下での入力作業は現実的に非常に困難ではないか。

カ. 機材

<活用状況及び教訓・提言>

水の出る場所が近くにないため、洗眼・皮膚清拭時、リンスキンがとても役だった。処方時、一緒に出すこともあり、すぐに不足状態となった。皮膚疾患に対する軟膏などもかなり不足した。

一処置ごとに手を洗うことは難しいためウェルパスを使用した量が限られており、代用にヒビテン等を使用。手袋も不足。感染防止には必要な物品なので多めに準備していただきたい。

その他に、洗眼用ボトル、20ccシリンジ、滅菌ガーゼ、吸水シート、体温計の使用頻度が高かった。現資材の体温計は測定に時間がかかり、暑い地域で腋窩の発汗もあり、スムーズに行うためには耳用体温計で数を増やしたい。医師よりペンライトの光が弱いため光量の強いものをとという意見もあった。診療テント内に大量のハエがいたため現地にて蠅取

り紙を購入し、各テントに効果的であった。

(5) 薬剤班報告

携行する薬剤については、WHO エssenシャル・ドラッグの概念に基づいたものとなっており、被災地において新たに必要なもの、不足するのは、現地にて入手することが前提になっている。また、被災地の医療水準を超えてはならない。今回、携行した薬剤の問題点、改善点を検討、考察する。

ア. 活動内容

薬局、医療資機材倉庫として設営したテント内にて、携行したジュラルミンより必要薬品を整理し調剤、投薬、在庫管理を行えるよう配置。

薬剤師1名、看護師1名、通訳1名、適宜調整員1名（薬剤師休日には看護師2名、他同じ）にて、調剤、投薬、在庫管理、薬品の調製等を行った。薬剤管理等を行いやすくするために患者ごとに投薬台帳を作成した。適宜、必要薬剤、不足薬剤の手配、アルジェリアのボランティアより供与された薬剤管理を行った。

未使用薬品を整理し先方の薬剤師へ説明を行い、使用可能薬品を確認し写真入りリストを作成、供与した。（別添4：使用可能薬（携行薬剤、現地購入薬剤及び供与薬剤）リスト参照）

イ. 必要薬剤等

疾患構造より、眼科用剤（点眼薬）、皮膚用剤（軟膏基剤となりえる軟膏）、呼吸器用剤（気管支拡張剤以外の鎮咳薬）、外用剤（NSAIDsの軟膏、湿布）、また、剤形より、計量することが困難な状況であるため計量する必要のない小児用剤形の薬剤

ウ. 携行量の検討が必要な薬剤

輸液（生理食塩液、乳酸リンゲル液）

抗生剤（chloramphenicol）

循環器用剤（methyldopa）

呼吸器用剤（aminophyllin注）

エ. 提言

調剤注意点では薬剤師が調剤するとは限らないため、医師の処方箋の書き方の統一、必要あれば約束処方を作成するなど検討する必要がある。また、計量が困難である状況なので、なるべく計量をしないような薬剤、剤形を携行薬剤として選択する必要がある。

地震発生より診療開始まで約1W経っていたこともあり、救急医療を要する患者はごくわずかであった。よって救急医療に用いる薬剤はほとんど使用することはなかった。災害に直接関与している疾患では、精神疾

患が多く、それに対する薬剤は日本より携行することができないので現地購入となる。対応は個々の mission 毎に検討し対応する必要がある。

災害に直接関与していない2次的な上気道炎や皮膚疾患、眼疾患など、比較的慢性的な内科疾患などに対応する薬剤がなく、投与、処置することが困難であった。慢性疾患の患者に対しては現地の医療機関への受診など対応できた。災害の種類、派遣先の状況、緊急援助派遣の性格上、現地のニーズに100%応えることは難しいが、携行薬剤のより一層の整理、検討が必要である。

(6) 医療調整班報告

ア. 活動内容

今回のミッションに救急救命士として初めて参加し、医療スタッフの補助、カルテの整理、物資の調達、食事の準備、医療廃棄物、ゴミの処理等医療調整の業務を行った。

業務全般においては、他のスタッフの協力を得てスムーズに行うことが出来た。また、現地の警察、消防も我々に協力的で、診療所の立ち上げ、患者の整理など助けられることが多かった。

受付業務については、一日平均200人ほどの患者が有り、時間配分、チームワークの必要性が求められた。日々ナースの担当も替わり、申し合わせ事項において不備な点が多々あり、事前において医療調整員、ナースとのミーティングを行い、周知することでスムーズな業務が行えると考えた。

ニーズ面からは、毎日、多数の患者が訪れ受付時において優しく対応する事で被災後の不安感など精神的ケアを行うことができたと思う。また、公衆衛生の面において診療所周囲のゴミ収集を行ったことで現地の子供たちも自主的に協力してくれたことは被災後の無気力から復興へ向けての士気に繋がったと思う。

効率面では、活動サイト決定後、診療所がエアーテントのアクシデントにより開設が遅れた。また、受付業務において、開設当初、一時流れが悪かったが、導線を改善することでスムーズに業務が流れた。患者数の増加によりチームワークが少し乱れた。

イ. 教訓・提言

- 1) テント設営時、エアーテント（黄）の破損が見つかり、診療所の立ち上げが遅れたことから、事前の機材点検を十分に行う必要がある。
- 2) 基本的なこととして、チームが目標を達成するためにはチームワークが重要であり、受付業務において一時チームワークが乱れたことについては、診療開始前における打ち合わせを十分に行う必要がある。

る。

(7) 業務調整班報告

ア. 食事関連

<活動内容及び教訓・提言>

1) メニュー

各個人により摂取量が異なるためビュッフェ形式をとり、好きな量を食べられるようにした。またビタミンの摂取のため、果物の他、一日3種類程度の野菜も用意するよう心がけた。

後半に入ると隊員に疲れとストレスがたまってきたためか、ご飯を希望する隊員が多く見られた。また食事の摂取量自体も減少していた。

1日目(それぞれに割り当て)

- アルファ米
- 味噌汁
- 桃の缶詰

2日目～10日目(ビュッフェ形式のサンドイッチ)

- パン(フランスパン、丸いパン、クロワッサン等)
- 野菜(トマト、キュウリ、たまねぎ、ピーマン)
- 缶詰(ツナ缶、味つきのツナ缶、オリーブ入りのツナ缶等)
- その他(ピクルス、オリーブの酢漬け、チーズ等)
- 果物(リンゴ、オレンジ、スイカ、バナナ、メロン)
- 飲み物(コーヒー、紅茶、緑茶、ほうじ茶、牛乳、ジュース

等)

2) 食材の調達

当初は朝のサイトへの移動途中で調達したが、店があまり開いておらず、翌日からは前日の昼間に大友隊員が医療資材の調達と合わせて行った。

アルジェ市内での調達はスーパーマーケット(日本でいえば小さなAコープといったところ)で一通りの食材の調達は可能であった。店内には冷蔵庫も備えていた。また市内にはパン屋が多数あり、パンの調達には困らなかった。

出来合いのサンドイッチを購入することも可能であるが、これはカフェやローカルレストランに前日に電話で予約を入れ、翌朝受け取りとなっていた。

なおアルファ米と一部の食材については日本から持ち込み、またレスキューチームからも余分の食材を譲り受けた。

3) 場所

サイトから徒歩3分に位置する倒壊した病院の敷地内に休憩所を設置し、ロジテントとタープをはり、タープ下に救助チームからの机を2台(食材を並べた)と、ビニールシート(隊員が座るため)を敷いた。

レスキューチームから偶然机を入手したが、机がとても役に立った。

4) 使用機材

- 携帯用ガスストーブ(コールマン)×2
- タープ×1
- ロジテント×1
- 机×2
- 食器各種

設定人数が少ないためか食器の数が基本的に少ない(現行は約20で設定されている模様)。22人の隊員とローカルスタッフがいるため、設定人数を増やす必要がある。

後半は片付けの時間削減のため、使い捨ての紙皿、使い捨てのコップを積極的に使用した。また途中、現地調達したポットが大変役に立った。準備の中で一番時間を要するのがお湯を沸かすことであり、沸かしたお湯をストックできることは、スープと飲み物とアルファ米などお湯を必要とする複数のものの準備を可能にした。

5) 教訓

診療最終日の昼食に準備したレトルトシチューに豚肉が使われていた。最後に油断し、確認を怠った。大きな問題にならなかったから良かったものの、今後はこういったことがないように最大限の注意を払いたい。

隊員からインスタント・ヌードル(カップ麺)の要望が多かった。期間中1食分ぐらい確保してもいいのではないか。スペースがかさばるようなら、チキンラーメンでもよいのではないか。

ウ、受付及び待合患者の整理

<活動内容>

1) 受付

テント入口前にて看護班の受付をサポートした。具体的な活動は下記の通りである。

- ①現地の警察官などと協力しながら、行列の整理
- ②患者をリラックスさせるためのコミュニケーション

- ③急患や乳幼児に対して優先的に対応するためのトリアージ
- ④テントに入る関所的な役割。
- ⑤身長と体重の測定とカルテへの記入。
- ⑥適時、脈拍数の計測とカルテへの記入。

2) その他

- ①サイトの設営。
- ②サイトの改善および修理。
- ③仮設トイレの計画などの補助

<教訓>

1) 受付

- ①はじめ、男女混合で一列に並ぶようにしたが、宗教的な習慣からか、地元の警察官も含めて、男女別々の列を作るように要請があり、3日目以降、男女別の列を作ったことによってスムーズな展開となった。
- ②多くの患者が来院し、人員整理がうまく行かなかったが、地元の警察官の協力を得ることで、診察開始前後も含めて、整然とした受付を行うことができた。
- ③患者の受付体制においてその動線管理と混乱回避のための対策が重要であることを痛感。受付準備中に急患が待合室側から運び込まれ、そのまま受付開始になった。長時間待っていた被災民が先着順で診察を受けることができるように、待合室内での整理券による整理を考えたが、かえって、待合室内の混乱を招いた。
- ④直射日光が強いにもかかわらず、立ったままで列を作った待ち時間を強いることになってしまった。タープを張ったり、待合椅子を設けたり、テント内での待合場所を確保するなどし、3日目からは少しは改善した。

<提言>

1) 受付に関して

- ①列を作るためのポールやワイヤーを用意すべきである。ただし、今回は幸運なことに途中から地元警察からの提供でローブをひくことが出来た。
- ②身長と体重を量るための計測器が必要である。
- ③カルテに身長・体重を記入する項目を作る必要がある。
- ④事前に現地の基礎的会話集などを揃えることが望ましい。
- ⑤オープンやクローズ、開院時間などを表示するためのプレートをあらかじめ用意すべきである。今回はダンボールで対応した。

- ⑥ 患者が座る長椅子などを用意すべき。簡易ベットを転用したが、強度が弱く潰れることが多かった。
- ⑦ 急患を運ぶタンカーが無かった。
- ⑧ 日の丸を掲げる専用のポールがあればよいのでは。

2) トリアージ

- ① 乳幼児の受付優先度についての「統一見解」をチームとして設定する必要がある。

3) その他

公衆衛生に関する活動を充実する必要がある。そのためには、予算、人材を別途設けるべきである。

オ. 仮設トイレ(浸透式トイレ)

<活動内容>

キャンプサイトの既設トイレの配管が地震動で破損し、その上、水洗用の給水がストップし、トイレ機能がほとんど麻痺状態であったため、本チームよりから保健省等の関係当局に対し、仮設トイレの設置要求を行うために、浸透式のトイレの設置について必要資器材や技術面における現地での対応可能性調査を実施してと見積書を作成し、設計図とともに提出した。

当局側は、本チーム活動期間内に浸透式トイレ設置案の採用を決定し、具体的な計画及び作業に着手したが、右期間中に当該トイレの完成まで確認することはできなかった。

キャンプ・サイトはゼムリ市の中心部であり、既存の下水管を利用したクローズタイプのトイレ設置が可能であれば、その選択がベストであるが、下水道の本管の破損の有無や最終処理場の稼働状況、電力の有無が下水システムにどう影響するかなど調査が必要であり、そして、工事期間が長期化されることから、災害直後の対策としては現実的に困難である。

一方、市街地以外で下水道のない地域では、より浸透式のトイレに対するニーズは大きい。現地の建設業者の技術的レベルや入手可能資材調査、使用可能な建設機械などの調査を行った上で、そのデザインを変えられるフレキシブルな浸透式トイレの活用が望まれる。

別途行われたアルジェリア式のトイレ改修工事では溜ますから下水管に接続する準クローズ式タイプを採用していたが、臭気対策や清潔さについて特に差異は見あたらない。従って今回のケースでは浸透式トイレ設置が妥当と判断される。

<提言>

- 業務調整員にトイレ作り経験のある土木隊員の配置をして、活動のための便宜を図ること
- 現地調達資材購入費と作業員労務費として日本円約 30 万円の予算化。
- 公衆衛生活動には、衛生工学の知識とトイレ建設の経験を有する土木技術者が参加する必要があると思われる。
- 今次使用した簡易トイレ 2 基の組み立ては手順説明書が分かりづらく時間を要した。
- 工具等を探す時間が多く、「工具箱」が必要と考える。

カ. そのほかロジ業務

- 1) 現地調達：ロジ班の 1 名が専属で医薬品、医療ほか必要資器材、食料を現地調達した。移動には通訳及びセキュリティーを同行。特に医薬品の調達時には日本から来た緊急援助隊ということで地元の薬局や薬品メーカーより快い対応を受けた。
- 2) ローカルスタッフ：活動当初は通訳が 5 名であり、若干不足気味であったが、中盤からは、8 名体制になり問題は解消された。先方への報告書の翻訳も含めレベルも高く、活動の成功に大きく貢献した。ただし、期間中に 1 日も休まず働いてもらったことは、ありがたかった半面、反省点でもある。今後は、しっかりシフトを組んで休養を確保する必要がある。
 運転手については、27日の余震後に 1 名情緒不安が見られ、運転も若干危ない場面があったが、特に事故等に至ることはなかった。
- 3) 廃棄物：当初、一般廃棄物は全て焼却する予定であったが、行政のゴミ回収が機能していたため、そちらへ回した。医療廃棄物については、隣接テントで医療活動に従事していたアルジェリア医療チームに習い、すべて焼却処理した。
- 4) 宿舎：現場まで 1 時間強を往復することとなったが安全面から止むを得ない選択であった。期間中、大会議室を会議兼作業スペースとして確保できた。

5 総括

医療チームは、12日間（5月26日～6月6日）のアルジェリア・ゼムリ市における緊急医療活動をつつがなく終え、6月7日全員元気に帰国した。

地震のほぼ震源地に当たるアルジェから約60キロのゼムリ市の中心のサッカースタジアムの被災民キャンプに、チーム到着の翌日（5月27日）に診療テントを開設し、滞在中延べ1628人に対し診療を行うことができた。4人の医師で一日平均200人強の患者を診た計算になる。日本の診療テントは、ゼムリの被災者はもとより、アルジェリア人医師からも信頼され、大変な好評を呼んだ。丁寧な診療レベルを維持し、殺到する患者さんを混乱なく受け入れるため、チーム全員が日々丸となって智恵をしぼり、埃まみれになって働いた。

また、公衆衛生分野でも、基本的な個人衛生知識の普及のためのチラシや看板を作成・配付したり、虫除けガーゼを配付したり、簡易トイレの設置を提案し工事が着手されたり、キャンプ地の側溝を消毒するなど、今次医療チームに付与された新たな活動項目である公衆衛生活動も幅広く展開することができた。

なお、医療活動を行うに当たっては、医療関係者と患者の良好なコミュニケーションが重要だが、今回幸いなことに、優秀な通訳陣8名を確保することができ、彼らが我々医療チームの意気に感じて、日本への感謝の念をもって精力的に協力してくれたことを特記したい。

我々の活動は、アルジェリア国内で大きな影響力を有する国営テレビで分かっているだけで3回映像付きで大きく報じられた。また、各新聞がこぞって我々の診療テントに取材に訪れ、活動ぶりを報じた。つい最近では、「ゼムリ市に陽が上る」（上る太陽とは仏語で「日本」の意味。したがってタイトルはゼムリ市に日本が出現したとの期待と感謝を込めたもの）というタイトルで、多くの住民が日本の診療に喜んでいと大きく報じられた。

更に活動の終了にあたり行われた5日の式典（報告書提出、資機材引渡し）では、医療チームの活動に対し、保健大臣名の感謝状とチームの活動を讃える記念の楯が贈られた。

また何よりも嬉しいことに、日本人を恐らく初めて見るゼムリ市の住民の皆さんから、会う毎に、「日本、ありがとう」と言われた。首都アルジェでも、今回の救援チーム、医療チームの活動に対し、在留邦人が見ず知らずのアルジェリア人からも感謝されて、鼻が高いと仄聞している。

緊急援助隊の活動の評価については、迅速性、ターゲット（ニーズ）、オペレーション及びプレゼンスの4点がその評価の項目となると承知しており、別途報告されるが、右状況から概観したところでは、今次医療チームの派遣につい

では、十分な成果が得られたものと考えている。

人間関係同様、国同士も困った時に助け合うのが、あるべき姿だと思われる。率直に言って、日本とアルジェリアは、9600キロも離れていることもあり、これまでお互いあまり馴染みのない国だったのは否めないが、今回の一件を通じ、お互いの友情が一步深まったのは間違いない。また、アルジェリアの災害に対し、最大余震当夜に我がチームは緊急の夜間診療を行うなど、日本人自身が現場に赴き、医療支援を行ったのは、二国間関係史上初めてのことであり、画期的なことだと思う。

このように、我々医療チームは今回考えられる限りの被災民に対する緊急保健医療を行えたものとする。これはひとえに途上国経験豊富で人間味あふれる医師団の存在、並びに団員ひとりひとりの、困っている人に少しでも力になってあげたいとの、強くかつ高い志がなせた業ではないかと思う。肉体的にはかなりきついミッションであったが、全員の士気が高く、困難な活動に参加したことに誇りを持つことができたというのが、共通の受け止め方だと思っている。

以上

1. 隊員リスト

別添1：隊員リスト

アルジェリアにおける地震災害に対する国際緊急援助隊医療チーム（派遣期間：2003.5.25-6.7）
Japan Disaster Relief Team for Earthquake in Democratic and People's Republic of Algeria

	氏名 Name	所属先 Occupation	指導科目 Assignment
1	小林 正雄 *1 Mr. KOBAYASHI MASAO	外務省中東アフリカ局中東一課地域調整官 Ministry of Foreign Affairs	団長 Leader
2	朝日 茂樹 Mr. ASAHU SHIGEKI	弘前大学医学部公衆衛生学	副団長（救急医療） Doctor
3	坂田 英樹 Mr. SAKATA HIDEKI	JICA国際緊急援助隊事務局災害援助課	副団長（業務調整） Coordination
4	三井 孝次 *2 Mr. MITSUI KOJI	外務省経済協力局国際緊急援助室	評価 Evaluation
5	富岡 譲二 Mr. TOMIOKA JOJI	国立国際医療センター救急部	救急医療 Doctor
6	山畑 佳篤 Mr. YAMAHATA YOSHIHIRO	（株）麻生飯塚病院	救急医療 Doctor
7	永井 周子 Ms. NAGAI SHUKO	京都大学大学院医学系研究科社会健康医学専攻	救急医療 Doctor
8	金澤 豊 Mr. KANAZAWA YUTAKA	長浜赤十字病院看護部	チーフナース（救急看護） Nurse
9	一木 あずさ Ms. ICHIKI AZUSA	特定医療法人慈泉会相澤病院救急医療センター	救急看護 Nurse
10	石田 昭子 Ms. ISHIDA AKIKO	JMTDR登録看護師	救急看護 Nurse
11	寺村 佐穂 Ms. TERAMURA SAHO	JMTDR登録看護師	救急看護 Nurse
12	山本 真弓 Ms. YAMAMOTO MAYUMI	JMTDR登録看護師	救急看護 Nurse
13	中村 朱実 Ms. NAKAMURA AKEMI	日本医科大学付属病院	救急看護 Nurse
14	高岡 誠子 Ms. TAKAOKA SEIKO	大阪府立千里救命救急センター	救急看護 Nurse
15	渡邊 暁洋 Mr. WATANABE AKIHIRO	日本医科大学付属病院薬剤部	薬剤管理 Pharmacist
16	三木 淳 Mr. ATSUSHI MIKI	松阪地区広域消防組合消防本部松阪南消防署	医療調整（救急救命士） Paramedic
17	東出 直明 Mr. HIGASHIDE NAOAKI	松阪地区広域消防組合消防本部松阪南消防署	医療調整（救急救命士） Paramedic
18	前林 清和 Mr. MAEBAYASHI KIYOKAZU	神戸学院大学人文学部	業務調整 Coordination
19	中沢 真三 Mr. NAKAZAWA SHINZO	（株）東海コンサルタンツ	業務調整 Coordination
20	大野 龍男 Mr. ONO TATSUO	JICA国際緊急援助隊事務局災害援助課	業務調整 Coordination
21	大友 仁 *1 Mr. OTOMO HITOSHI	JICA国際緊急援助隊事務局災害援助課	業務調整 Coordination
22	臼井 嘉一 Mr. USUI YOSHIKAZU	（社）青年海外協力協会	業務調整 Coordination

*1：派遣中の救助チームから現地で合流

*2：派遣期間（2003.5.30-2003.6.7）

2. 携行機材リスト

別添2：携行機材リスト

R-NO.	機材番号	収納	機材名	英文名	在庫数
1	D0201-01		ドクターズキットD0201	Medical equipment	1
	D0201-02	上部1	ディスポーザブル 舌圧子 レギュラー	Disposable tongue depressor	5
	D0201-03	上部1	ニュースタイ N3	Newstie N3	2
	D0201-04	上部1	ニュースタイ N4	Newstie N4	2
	D0201-05	上部1	ニュースタイ N5	Newstie N5	2
	D0201-06	上部1	バンドエイド S (Junior/100枚入)	Bandage (big)	100
	D0201-07	上部1	バンドエイド L (200枚入)	Bandage (small)	200
	D0201-08	上部1	トランスポア 1インチ	Transpoa (big)	1
	D0201-09	上部1	トランスポア 1/2インチ	Transpoa (small)	1
	D0201-10	上部1	スキンクローザー 6×75 (50枚/箱)	Skin Closer	50
	D0201-11	上部1	ソフラチュール30×10cm	fradiomycin sulfate (sofratulle)	10
	D0201-12	上部1	三角布 105×105×150	Triangle bandage	1
	D0201-13	上部1	サージパッド 5インチ×9インチ	Searge pad	10
	D0201-14	上部2	脈血帯 ゴムチューブ	Tourniquet T6	1
	D0201-15	上部2	翼付針セット 21G	Infusion set with wings 21G	2
	D0201-16	上部2	翼付針セット 25G	Infusion set with wings 25G	2
	D0201-17	上部2	ディスポ注射器 2.5ml	Disposable syringe 2.5ML	2
	D0201-18	上部2	ディスポ注射器 10ml	Disposable syringe 10ML	2
	D0201-19	上部2	ディスポ注射針 18G	Disposable needle 18G	2
	D0201-20	上部2	ディスポ注射針 21G	Disposable needle 21G	2
	D0201-21	上部2	ディスポ注射針 23G	Disposable needle 23G	2
	D0201-22	上部2	カテラン針 23G	Cateran needle 23G	2
	D0201-23	上部2	三方活栓 R型 R-1	3-way stopcock R type. R-1	2
	D0201-24	上部2	輸液セット (小児用)	Infusion set (infant)	2
	D0201-25	上部2	輸液セット (標準型)	Infusion set (standard)	2
	D0201-26	上部2	延長管 250mm (2.0ml)	Extension tube 250mm	2
	D0201-27	上部2	ソラクト 1000ml	Solract	2
	D0201-28	底部	手術用マスク M-302S 滅菌済	Operation mask M-302S sterilized	2
	D0201-29	底部	ペンライト (ディスポ式)	Pen light (disposable) 6pcs	1
	D0201-30	底部	手洗ブラシ NO.66 耐熱白ナイロン	Hand brush No.66 heat resistant, white, nylon	1
	D0201-31	底部	薬袋 100×140×0.04mm (ユニパック E-4・200枚/袋)	Unipack E-4 10×14cm	10
	D0201-32	底部	タイコス血圧計 DR-A2	Tycos sphygmomanometer DR-A2	1
	D0201-33	底部	電子体温計実測式 抗菌防水 (MC100B)	Electronic thermometer (MC-3BW)	1
	D0201-34	底部	聴診器 リットマンタイプ	Stethoscope littman type	1
	D0201-35	底部	滅菌済手術手袋 サンソフト6.5	Sterile operation glove sansoft, 6.5	1
	D0201-36	底部	滅菌済手術手袋 サンソフト7	Sterile operation glove sansoft, 7	1
	D0201-37	底部	滅菌済手術手袋 サンソフト7.0	Sterile operation glove sansoft, 7.0	1
	D0201-38	底部	ノーボン (ディスポ) K-1	kidney tray (disposable) K-1	2
	D0201-39	底部	オイフ (ディスポ) 6cm円穴	Surgical drape (disposable) 6cm. ROUND HOLE	2
	D0201-40	底部	ビニール袋 (中間ゴミ袋)	Vinyl bag (middle sides dust bag)	4
	D0201-41	底部	外科セット (滅菌済)	Surgical set	1
1-②	D0201-42	底部	手術用キャップ	Disposable surgical cap CC-802A No. 4	2
	D0201-43	底部	イソジン 10% 250ml	Isodine	1
	D0201-44	底部	探尿コップ 200ml	Paper cup	5
	D0201-45	底部	湿布薬	Patex A	24
	D0201-46	底部	(ワンショット・60枚入)	Cotton	60
	D0201-47	底部	キシロカイン 1% 20ml	Xilocaine 1% 20ml	40
	D0201-48	底部	ビクシリン 250mg 100Cap	Viccillin 250 mg/cap	100
	D0201-49	底部	ブルフェン 100mg 100錠	Brufen 100mg/T	100
	D0201-50	底部	メモ用紙	Note book	1
	D0201-51	底部	JDRマークシール 大	JDR mark (big size)	1
	D0201-52	底部	JDRマークシール 中	JDR mark (small size)	3
	D0201-53	底部	軍手	Glove	1
	D0201-54	底部	ペン 赤、黒 (各1)	pen	2
	D0201-55	底部	マジック 赤、黒 (各1)	magic	2
	D0201-56	底部	ユニバーサル診断セット A-138. 10. 118	Universal diagnostic set A138. 10. 110	1
	D0201-57	底部	サムスプリント (ロール型万能副子) SAM488 108×488	Sum splint No. 10	2
	D0201-58	底部	ギブスシート	gypsum sheet	2
2	D0202-01		ドクターズキットD0202	Medical equipment	1
	D0202-02	上部1	ディスポーザブル 舌圧子 レギュラー	Disposable tongue depressor	5
	D0202-03	上部1	ニュースタイ N3	Newstie N3	2
	D0202-04	上部1	ニュースタイ N4	Newstie N4	2
	D0202-05	上部1	ニュースタイ N5	Newstie N5	2
	D0202-06	上部1	バンドエイド S (Junior/100枚入)	Bandage (big)	100
	D0202-07	上部1	バンドエイド L (200枚入)	Bandage (small)	200
	D0202-08	上部1	トランスポア 1インチ	Transpoa (big)	1
	D0202-09	上部1	トランスポア 1/2インチ	Transpoa (small)	1

別添2：携行機材リスト

R-NO.	機材番号	収納	機材名	英文名	在庫数
	D0202-10	上部1	スキנקロージャー R-1541 6×75 (50枚/箱)	Skin Closer	50
	D0202-11	上部1	ソフラチュール30×10cm	fradiomycin sulfate (sofratuile)	10
	D0202-12	上部1	三角布 105×105×150	Triangle bandage	1
	D0202-13	上部1	サージパッド 5インチ×9インチ	Searge pad	10
	D0202-14	上部2	駆血帯 ゴムチューブ	Tourniquet T6	1
	D0202-15	上部2	翼付針セット 21G	Infusion set with wings 21G	2
	D0202-16	上部2	翼付針セット 25G	Infusion set with wings 25G	2
	D0202-17	上部2	デスポ注射器 2.5ml	Disposable syringe 2.5ML	2
	D0202-18	上部2	デスポ注射器 10ml	Disposable syringe 10ML	2
	D0202-19	上部2	デスポ注射針 18G	Disposable needle 18G	2
	D0202-20	上部2	デスポ注射針 21G	Disposable needle 21G	2
	D0202-21	上部2	デスポ注射針 23G	Disposable needle 23G	2
	D0202-22	上部2	カテラン針 23G	Cateran needle 23G	2
	D0202-23	上部2	三方活栓 R型 R-1	3-way stopcock R type, R-1	2
	D0202-24	上部2	輸液セット (小児用)	Infusion set (infant)	2
	D0202-25	上部2	輸液セット (標準型)	Infusion set (standard)	2
	D0202-26	上部2	延長管 250mm (2.0ml)	Extension tube 250mm	2
	D0202-27	上部2	ソラクト 1000ml	Sofract	1
	D0202-28	上部2	ソラクト 1000ml	Sofract	1
	D0202-29	底部	手術用マスク M-302S 滅菌済	Operation mask M-302S sterilized	2
	D0202-30	底部	ペンライト (デスポ式)	Pen light (disposable) 6pcs	1
	D0202-31	底部	手洗ブラシ NO.66 耐熱白ナイロン	Hand brush No.66 heat resistant, white, nylon	1
	D0202-32	底部	薬袋 100×140×0.04mm (ユニパック E-4・200枚/袋)	Unipack E-4 10×14cm	10
	D0202-33	底部	タコス血圧計 DR-A 2	Tycos sphygmomanometer DR-A2	1
	D0202-34	底部	電子体温計突刺式 抗菌防水 (MC100B)	Electronic thermometer (MC-38W)	1
	D0202-35	底部	聴診器 リットマンタイプ	Stethoscope littman type	1
	D0202-36	底部	滅菌済手術手袋 サンソフト6.5	Sterile operation glove sansoft .6.5	1
	D0202-37	底部	滅菌済手術手袋 サンソフト7	Sterile operation glove sansoft .7	1
	D0202-38	底部	滅菌済手術手袋 サンソフト7.0	Sterile operation glove sansoft .7.0	1
	D0202-39	底部	ノーボン (デスポ) K-1	kidney tray (disposable) K-1	2
	D0202-40	底部	オイフ (デスポ) 6cm円穴	Surgical drape (disposable) 6cm, ROUND HOLE	2
	D0202-41	底部	ビニール袋 (中間ゴミ袋)	Vinyl bag (middle sides dust bag)	4
	D0202-42	底部	外科セット (滅菌済)	Surgical set	1
2-②	D0202-43	底部	手術用キャップ	Disposable surgical cap CC-802A No.4	2
	D0202-44	底部	イソジン 10% 250ml	Iso-dine	1
	D0202-45	底部	探尿コップ 200ml	Paper cup	5
	D0202-46	底部	湿布薬	Patex A	24
	D0202-47	底部	ワンショット・60枚入	Cotton	60
	D0202-48	底部	キシロカイン 1% 20ml	Xilocaine 1% 20ml	20
	D0202-49	底部	キシロカイン 1% 20ml	Xilocaine 1% 20ml	20
	D0202-50	底部	ビクシリン 250mg 100Cap	Vicillin 250 mg/cap	100
	D0202-51	底部	ブルフェン 100mg 100錠	Brufen 100mg/T	100
	D0202-52	底部	メモ用紙	Note book	1
	D0202-53	底部	JDRマークシール 大	JDR mark (big size)	1
	D0202-54	底部	JDRマークシール 中	JDR mark (small size)	3
	D0202-55	底部	軍手	Glove	1
	D0202-56	底部	ペン 赤、黒 (各1)	pen	2
	D0202-57	底部	マジック 赤、黒 (各1)	magic	2
	D0202-58	底部	ユニバーサル診断セット A-138, 10, 118	Universal diagnostic set A138, 10, 110	1
	D0202-59	底部	サムスプリント (ロール型万能調子) SAM488 108×488	Sum splint No.10	2
	D0202-60	底部	ギブスシート	gypsum sheet	2
3	G0201-01		医薬品セットG0201	medicine	1
	G0201-02	G-1-1	アセチルサリチル酸 330mg/T	Aspirin 330mg/T	1000
	G0201-03	G-1-1	アセチルサリチル酸 81mg/T	Bufferrin 81mg/T	1000
	G0201-04	G-1-1	イブプロフェン 100mg/T	Brufen 100mg/T	600
	G0201-05	G-1-1	メベンダゾール 100mg/T	Mebendazole 100mg/T	60
	G0201-06	G-1-1	胃腸薬	Stomachic Tab	1000
	G0201-07	G-1-1	アズノール 2mg/T	Azunol 2mg/T	1000
	G0201-08	G-1-1	アミノフィリン 100mg/T	Neophyllin 100mg/T	100
	G0201-09	G-1-2	アンピシリン 250mg/Cap	Vicillin 250mg/Cap	600
	G0201-10	G-1-2	アンピシリン 100mg/g	Vicillin Dry Syrup 100mg/g	500
	G0201-11	G-1-2	テトラサイクリン 250 mg/Cap	Achromycin V250 mg/Cap	100
	G0201-12	G-1-2	エリスロマイシン 200mg/T	Erythrocin 200mg/T	100
	G0201-13	G-1-2	クロラムフェニコール錠 250mg/T	Chloromycetin Tab 250mg/T	500
	G0201-14	G-1-2	クロラムフェニコール錠 250mg/T	Chloromycetin Tab 250mg/T	500
	G0201-15	G-1-2	バクタール 400mg+80mg/T	Baktar 400mg+80mg/T	200
	G0201-16	G-1-2	フラギル 250mg/T	Flagyl 250mg/T	300

別添2：携行機材リスト

R-NO.	機材番号	収納	機材名	英文名	在庫数
	G0201-17	G-1-3	プロメタジン 25mg/T	Pyrethia Tab 25mg/T	100
	G0201-18	G-1-3	臭化デキストロメトラン Sy 2.5mg+15mg/ml	Medicon Syrup 2.5mg +15mg /ml	500
	G0201-19	G-1-3	κ [*] 肝シ酸加ラムフェニコール Sy 31.25mg/ml	Chloromycetin Syru 31.25mg/ml	500
	G0201-20	G-1-3	ポントールシロップ	Pontal Syrup	500
	G0201-21	G-1-3	ナリジスク酸 250mg/T	Wintomyion 250mg/T	1000
	G0201-22	G-1-3	ナリジスク酸 Sy 50mg/ml	Wintomyion Sy 50mg/ml	500
	G0201-23	G-1-3	センノシドA&B 12mg/T	Pursennid tab 12mg/T	100
	G0201-24	G-1-3	複合ビタミン剤	Bitren tab	500
	G0201-25	G-1-3	クロルフェニラミン 6mg/T	Polaramin R 6mg/T	2500
	G0201-26	G-1-3	フロセミド 40mg/T	Lasix tab 40mg/T	100
	G0201-27	G-1-4	メチルドパ 250mg/T	Aldemet tab 250mg/T	500
	G0201-28	G-1-4	硫酸サルブテロール 1.2mg/g 13.5ml	Sultanol inhaler 0.16% 13.5ml	5
	G0201-29	G-1-4	スルファジアジン銀 1%	Geben cream 1%	2000
	G0201-30	G-1-4	クロールヘキシジン	Rinskin 40pcs/box	40
	G0201-31	G-1-4	マルチスティックス	N-Malch sticks 100pcs/box	100
	G0201-32	G-1-4	探尿コップ 200ml	Harun Cap	20
	G0201-33	G-1-4	カルテ (英語版)	Prescription	
	G0201-34	G-1-4	薬袋 85×60×0.04mm (ユニパック B-4・300枚/袋)	Unipac B-4 85×60cm	300
	G0201-35	G-1-4	薬袋 120×85×0.04mm (ユニパック D-4・200枚/袋)	Unipac D-4 12×8.5cm	200
	G0201-36	G-1-4	薬袋 100×140×0.4mm (ユニパック E-4・200枚/袋)	Unipack E-4 10×14cm	200
	G0201-37	G-1-5	小分け用容器：軟膏用	Poli Bottle	100
	G0201-38	G-1-5	1L*リ容器：消毒薬希釈、調整用	Poli Bottle 1L	4
	G0201-39	G-1-6	ソフラチュール30×10cm	fradiomycin sulfate(sofratulle)	80
	G0201-40	G-1-6	薬袋 85×60×0.04mm (ユニパック B-4・300枚/袋)	Unipac B-4 85×60cm	1200
	G0201-41	G-1-6	薬袋 100×140×0.04mm (ユニパック E-4・200枚/袋)	Unipack E-4 10×14cm	600
4	G0202-01		医薬品セットG0202	medicine	1
	G0202-02	G-2-1	リドカイン	Xylocaine jelly	5
	G0202-03	G-2-1	塩化メチルロザニリン	Crystal violet lactone	25
	G0202-04	G-2-1	クロトリマゾール1%10g	Empecid cream	50
	G0202-05	G-2-1	硫酸ゲンタマイシン	Gentamicin ointment	100
	G0202-06	G-2-1	クオタミトン	Eurax ointment	300
	G0202-07	G-2-1	エリスロマイシン 10mg/g	Erythromycin eye ointment 10mg/g	35
	G0202-08	G-2-1	オフロキサシン 5ml	Tarivid solution 5ml	50
	G0202-09	G-2-2	小分け用容器：150ml・3.5g	Poli Bottle	25
	G0202-10	G-2-2	臭化ブチルスコポラミン 20mg/ml/A	Buscopan inj 20mg/ml/A	10
	G0202-11	G-2-2	ニフェジピン 10mg/Cap	Adalat 10mg/Cap	120
	G0202-12	G-2-2	エビネフリン 0.1% 1ml	Bosmin inj 0.1% 1ml	20
	G0202-13	G-2-3	リドカイン 1% 20ml/V	Xylocaine 1% 20ml/V	160
	G0202-14	G-2-3	リドカイン 1% 20ml/V	Xylocaine 1% 20ml/V	20
	G0202-15	G-2-3	リドカイン 1% 20ml/V	Xylocaine 1% 20ml/V	60
	G0202-16	G-2-3	塩酸ケタミン 500mg/10ml/v	Ketalar 50 500mg/10ml/v	10
	G0202-17	G-2-3	塩酸ケタミン 200mg/20ml/v	Ketalar 10 200mg/20ml/v	10
	G0202-18	G-2-4	スルピリン 25% 1ml/A	Metilon 25% 1ml/A	100
	G0202-19	G-2-4	スルピリン 10% 2ml/A	Metilon 10% 2ml/A	100
	G0202-20	G-2-4	アミノフィリン注射液	Neophyllin inj 25mg/ml,10ml/A	30
	G0202-21	G-2-4	塩酸ヒドララジン 20mg/ml/A	Apresoline inj 20mg/ml/A	20
	G0202-22	G-2-4	フロセミド 20mg/A (10mg/ml, 2ml/A)	Lasix inj 20mg/A (10mg/ml, 2ml/A)	10
	G0202-23	G-2-4	リドカイン 1% 100ml/V	Xylocaine inj 1% 100ml/V	200
	G0202-24	G-2-5	アンピシリン 1g/v	Vicillin inj 1g/v	10
	G0202-25	G-2-5	アンピシリン 1g/v	Vicillin inj 1g/v	10
	G0202-26	G-2-5	アンピシリン 1g/v	Vicillin inj 1g/v	20
	G0202-27	G-2-5	ベンジルペニシリンカリウム 注射用100万単位	Penicillin G Potassium Crystalline	10
	G0202-28	G-2-5	クロラムフェニコール 1g (力価) /瓶	Chloromycetin inj 1g/v	10
	G0202-29	G-2-5	1L*リ容器：消毒薬希釈、調整用	Plastic bottle 1little	1
	G0202-30	G-2-6	ブドウ糖注射液 50%20ml/A	Dextrose 50% 20ml/A	50
	G0202-31	G-2-6	生理食塩液 20ml/A	Sodium Chloride Solution 20ml/A	50
	G0202-32	G-2-7	ソフラチュール30×10cm	fradiomycin sulfate(sofratulle)	40
	G0202-33	G-2-7	湿布薬	Patecs Hi 12Papers/P	72
5	G0203-01		医薬品セットG0203	medicine	1
	G0203-02	G-3	アセチルサリチル酸 300mg/T	Aspirin 330mg/T	2000
	G0203-03	G-3	アセチルサリチル酸 81mg/T	Bufferrin 81mg/T	1000
	G0203-04	G-3	メベンダゾール 100mg/T	Mebendazole 100mg/T	180
	G0203-05	G-3	アンピシリン 100mg/g	Vicillin Dry Syrup 100mg/g	1500
	G0203-06	G-3	アンピシリン 1g/v	Vicillin inj 1g/v	30
	G0203-07	G-3	アンピシリン 1g/v	Vicillin inj 1g/v	20
	G0203-08	G-3	アンピシリン 1g/v	Vicillin inj 1g/v	10
	G0203-09	G-3	テトラサイクリン 250 mg/Cap	Achromycin V250 mg/Cap	400

別添2：携行機材リスト

R-NO.	機材番号	収納	機材名	英文名	在庫数
	G0203-10	G-3	エリスロマイシン 200mg/T	Erythrocin 200mg/T	900
	G0203-11	G-3	クロラムフェニコール錠 250mg/T	Chloromycetin Tab 250mg/T	800
	G0203-12	G-3	クロラムフェニコール Sy 31.25mg/ml	Chloromycetin Syru 31.25mg/ml	500
	G0203-13	G-3	スルファトザール+トリプロリム 400mg+80mg/T	Baktar 400mg+80mg/T	1800
	G0203-14	G-3	ナリジスク酸 Sy 50mg/ml	Wintomyion Sy 50mg/ml	500
	G0203-15	G-3	メトロニダゾール 250mg	Flagyl 250mg/T	700
	G0203-16	G-3	複合ビタミン剤	Bitren tab	1000
	G0203-17	G-3	クロタミトン	Eurax ointment	200
	G0203-18	G-3	塩化ベンザルコニウム+EtOH 0.2%+83%	Welpas 0.2%+83%	1
6	G0204-01		医薬品セットG0204	medicine	1
	G0204-02	G-4	生理食塩液 1L	Sodium Chloride Solution 1L	10
	G0204-03	G-4	生理食塩液 20ml/A	Sodium Chloride Solution 20ml/A	50
	G0204-04	G-4	生理食塩液 20ml/A	Sodium Chloride Solution 20ml/A	50
	G0204-05	G-4	生理食塩液 20ml/A	Sodium Chloride Solution 20ml/A	50
	G0204-06	G-4	消毒液 ミルトン 1L	Milton 1%	1
	G0204-07	G-4	ポビドンヨード液 10%	Isodine 10%	3
	G0204-08	G-4	オキシドール 3%	Oxydol 3%	1
6-②	G0204-09	G-4	カルテ (英語版)	Prescription	
	G0204-10	G-4	小分け用容器 : (60ml ・ 3.5g)	Poli Bottle 60ml	41
	G0204-11	G-4	1L用容器 : 消毒薬希釈、調整用	Poli Bottle 1L	1
7	G0205-01		医薬品セットG0205	medicine	1
	G0205-02	G-5	乳酸リンゲル液 1L	Solulact 1L	20
	G0205-03	G-5	生理食塩液 1L	Sodium Chloride Solution 1L	10
8	G0206-01		医薬品セットG0206	medicine	1
	G0206-02	G-OP-1	スルファドキシシン・ピリメタリン製剤	Fancidar 500mg+25mg/T	300
	G0206-03	G-OP-1	メベンダゾール 100mg/T	Mebendazole 100mg/T	480
	G0206-04	G-OP-1	アミノフィリン 100mg/T	Neophyllin 100mg/T	1000
	G0206-05	G-OP-1	アミノフィリン 2.5% 10ml/A	Neophyllin inj 25mg/ml, 10ml/A	30
	G0206-06	G-OP-1	硫酸第一鉄 50mg/T	Slow-Fe 50mg/T (for Fe)	1000
	G0206-07	G-OP-1	葉酸 5mg/T	Familian 5mg/T	1000
	G0206-08	G-OP-1	フェノトリン 0.4%	Sumisn powder 0.4%	300
	G0206-09	G-OP-1	クロラムフェニコール錠 250mg/T	Chloromycetin Tab 250mg/T	100
	G0206-10	G-OP-1	クロラムフェニコール錠 250mg/T	Chloromycetin Tab 250mg/T	1800
	G0206-11	G-OP-1	クロラムフェニコール 1g/v	Chloromycetin inj 1g/v	100
9	G0207-01		医薬品セットG0207	medicine	1
	G0207-02	G-OP-2	クロラムフェニコール Sy 31.25mg/ml	Chloromycetin Syru 31.25mg/ml	4500
	G0207-03	G-OP-2	乳酸リンゲル液 1L	Solulact 1L	10
	G0207-04	G-OP-2	生理食塩液 1L	Sodium Chloride Solution 1L	10
10	R0201-01		医療資機材セットR0201	Medical equipment	1
	R0201-02	R-1-1	綿棒 木軸 片綿 10A1512 (10本入/袋)	Cotton applicator 10A1512	400
	R0201-03	R-1-1	リンスキンL (40袋入/箱)	Rinskin 40pcs/box	360
	R0201-04	R-1-2	カットメン 500g 脱脂綿 8cm×16cm	Cotton	500
	R0201-05	R-1-2	乳酸リンゲル液 ソルラクト 1000ml	Solulact 1L	2000
	R0201-06	R-1-2	延長管 250mm	Extension tube 250mm	30
	R0201-07	R-1-3	遠乾性撥手指消毒剤 ウェルバス 1L	Welpas 1L	1
	R0201-08	R-1-3	殺菌消毒剤 5%ヒビテン 500ml	chlorhexidine gluconate 5%	4
	R0201-09	R-1-3	外用消毒剤 イソジン 250ml	Isodine 10%	4
	R0201-10	R-1-3	外用消毒剤 オキシドール 500ml	Oxydol 3%	1
	R0201-11	R-1-3	消毒液 ミルトン 1L	Milton 1L	1
	R0201-12	R-1-4	延長管 250mm	Extension tube 250mm	42
	R0201-13	R-1-4	延長管 250mm	Extension tube 250mm	18
11	R0202-01		医療資機材セットR0202	Medical equipment	1
	R0202-02	R-2-1	万能壺 250cc STEEL	Stainless steel pod 250ml	3
	R0202-03	R-2-1	万能壺 500cc STEEL	Stainless steel pod 500ml	3
	R0202-04	R-2-1	柄付メス (ディスポ) #10	Disposable surgical knife with handle #10	20
	R0202-05	R-2-1	外科セット (滅菌済)	Surgical set	2
	R0202-06	R-2-2	バイクリル 針付縫合糸 (8本/pack×12) /箱	Bicril suture with needle 12pcs. 3-0	192
	R0202-07	R-2-2	バイクリル 針付縫合糸 (8本/pack×12) /箱	Bicril suture with needle 12pcs. 4-0	192
	R0202-08	R-2-2	バイクリル 針付縫合糸 (24本入) 5/0	Bicril suture with needle 12pcs. 5-0	24
	R0202-09	R-2-2	ユニバーサル診断セット	Universal diagnostics set A138.10.110	3
	R0202-10	R-2-3	滅菌絹製縫合糸 JISNO.2 (40cm×6本/袋×10) /pack	Steril silk suture No.2 6pcs.	300
	R0202-11	R-2-3	滅菌絹製縫合糸 JISNO.3 (40cm×6本/袋×10) /pack	Steril silk suture No.3 6pcs.	300
	R0202-12	R-2-3	滅菌絹製縫合糸 JISNO.4 (40cm×6本/袋×10) /pack	Steril silk suture No.4 6pcs.	300
	R0202-13	R-2-3	滅菌絹製縫合糸 JISNO.5 (40cm×6本/袋×10) /pack	Steril silk suture No.5 6pcs.	300
	R0202-14	R-2-3	サージロン 針付縫合糸 U. S. P. 2-0 (5本入/24袋/箱)	Surgilon suture with needle U. S. P. 2-0	360
	R0202-15	R-2-3	サージロン 針付縫合糸 U. S. P. 3-0 (5本入/24袋/箱)	Surgilon suture with needle U. S. P. 3-0	480
	R0202-16	R-2-3	サージロン 針付縫合糸 U. S. P. 4-0 (5本入/24袋/箱)	Surgilon suture with needle U. S. P. 4-0	480

別添2：携行機材リスト

R-NO.	機材番号	収納	機材名	英文名	在庫数
	R0202-17	R-2-4	ネラトンカテーテル (横1穴) 2号 (2.0mm)	Nelaton catheter (side 1 hole) No. 2 (2.0mm)	2
	R0202-18	R-2-4	ネラトンカテーテル (横1穴) 3号 (2.5mm)	Nelaton catheter (side 1 hole) No. 3 (2.5mm)	2
	R0202-19	R-2-4	ネラトンカテーテル (横1穴) 4号 (3.0mm)	Nelaton catheter (side 1 hole) No. 4 (3.0mm)	2
	R0202-20	R-2-4	ネラトンカテーテル (横1穴) 6号 (4.0mm)	Nelaton catheter (side 1 hole) No. 6 (4.0mm)	2
	R0202-21	R-2-4	ネラトンカテーテル (3孔) 2号 (2.0mm)	Nelaton catheter (3 holes) No. 2 (2.0mm)	2
	R0202-22	R-2-4	ネラトンカテーテル (3孔) 3号 (2.5mm)	Nelaton catheter (3 holes) No. 3 (2.5mm)	2
	R0202-23	R-2-4	ネラトンカテーテル (3孔) 4号 (3.0mm)	Nelaton catheter (3 holes) No. 4 (3.0mm)	2
	R0202-24	R-2-4	ネラトンカテーテル (3孔) 6号 (4.0mm)	Nelaton catheter (3 holes) No. 6 (3.0mm)	2
	R0202-25	R-2-4	Forleyバルーンカテーテル 8Fr	Forley balloon catheter 8FR	10
11-②	R0202-26	R-2-4	Forleyバルーンカテーテル 14Fr	Forley balloon catheter 14FR	10
12	R0203-01		医療資機材セット R0203	Medical equipment	1
	R0203-02	R-3-1	翼付針セット 21G	Infusion set with wings 21G	42
	R0203-03	R-3-1	翼付針セット 21G	Infusion set with wings 21G	8
	R0203-04	R-3-1	翼付針セット 25G	Infusion set with wings 25G	42
	R0203-05	R-3-1	翼付針セット 25G	Infusion set with wings 25G	8
	R0203-06	R-3-1	スーパーキャス 22G	Happy cast z 20G	100
	R0203-07	R-3-1	スーパーキャス 20G	Happy cast z 22G	100
	R0203-08	R-3-1	ディスポ注射器 2.5mL	Disposable syringe 2.5ML	10
	R0203-09	R-3-1	ディスポ注射器 10mL	Disposable syringe 10ML	10
	R0203-10	R-3-1	SIMCチューブ鉗子 145	Smic tube forceps 145 mm	2
	R0203-11	R-3-1	劇痛 局所麻酔液 (局所麻酔剤) 1%キシロカイン 100cc	xylocaine 1% 100cc	200
	R0203-12	R-3-2	ディスポ注射針 18G	Disposable needle 18G	92
	R0203-13	R-3-2	ディスポ注射針 21G	Disposable needle 21G	92
	R0203-14	R-3-2	ディスポ注射針 23G	Disposable needle 23G	92
	R0203-15	R-3-2	カテル針 23G	Cathelin needle 23G	92
	R0203-16	R-3-2	三方活栓 R型 R-1	3-Way stopcock R type, R-1	40
	R0203-17	R-3-2	三方活栓 L型 L-1	3-Way stopcock L type, L-1	40
	R0203-18	R-3-2	布バン 25×5m (ニチバン No. 25 10個/箱)	sticking plaster	50
	R0203-19	R-3-3	滅菌済検診用手袋 (SDグローブ) M	Steril diagnostics glove (sd glove) M	200
	R0203-20	R-3-3	滅菌済検診用手袋 (SDグローブ) S	Steril diagnostics glove (sd glove) S	200
	R0203-21	R-3-3	滅菌済手術手袋	Steril surgical glove, sansoft 6.5	6
	R0203-22	R-3-3	滅菌済手術手袋	Steril surgical glove, sansoft 7	6
	R0203-23	R-3-3	滅菌済手術手袋	Steril surgical glove, sansoft 7.5	6
	R0203-24	R-3-3	輸液セット (小児用) 60滴=1mL	Infusion set (infant)	5
	R0203-25	R-3-3	輸液セット (標準型)	Infusion set (standard)	5
	R0203-26	R-3-3	延長管 250mm 2.0mL	Extension tube 250mm	10
	R0203-27	R-3-3	多用途チューブ NS-520-4FR 外径1.35mm 長さ40cm	Multi purpose tube NS-520	10
	R0203-28	R-3-3	フィーディングチューブ 8FR 長さ106cm	Feeding tube	5
	R0203-29	R-3-3	スパイナル針 22GX3inch 76mm	Spinal needle 22G33	5
	R0203-30	R-3-4	タオル 上物 白色	Towel, high quality, white	10
13	R0204-01		医療資機材セット R0204	Medical equipment	1
	R0204-02	R-4-1	ギプス用下巻包帯 ハイギプスシート 3裂 幅10cm×4.5m	High gypsum sheet	6
	R0204-03	R-4-1	キャストリングテープ 3インチ	Super cast 3 inch	4
	R0204-04	R-4-1	キャストリングテープ 5インチ	Super cast 5 inch	4
	R0204-05	R-4-1	サムスプリント (ロール型万能副子) SAM488	Endula sprint No. 4	10
	R0204-06	R-4-1	ギプスカッター (万能ハサミ)	Gypsum cutter (large scissors)	1
	R0204-07	R-4-1	ギプス用手袋	Gypsum glove	6
	R0204-08	R-4-2	フタ付バット 27×21×4cm 3号	Vat with lid 27x21x4	2
	R0204-09	R-4-2	ノーボン (ディスポ)	Disposable kidney dish K-1	10
	R0204-10	R-4-2	角型トレー (ディスポ) 225×145×30	Square tray 225x145x30	50
	R0204-11	R-4-3	オイフ (ディスポ) 6cm円穴	Disposable surgical darpe with hole	50
	R0204-12	R-4-3	オイフ (ディスポ) 6cm円穴	Disposable surgical darpe	50
	R0204-13	R-4-4	アルフェンスシーネ N02	Alfence splint No. 2	12
	R0204-14	R-4-4	アルフェンスシーネ N04	Alfence splint No. 4	6
	R0204-15	R-4-4	ビニール袋 (ゴミ袋)	Vinyl bag (dust bag)	10
	R0204-16	R-4-4	ビニール袋 (中間ゴミ袋)	Vinyl bag (middle size dust bag)	10
	R0204-17	R-4-4	ビニール袋 (A4サイズゴミ袋)	Vinyl bag (A size dust bag)	10
14	R0205-01		医療資機材セット R0205	Medical equipment	1
	R0205-02	R-5-1	ディスポーザブル 舌圧子	Disposable tongue depressor	100
	R0205-03	R-5-1	ディスポーザブル 舌圧子	Disposable tongue depressor	100
	R0205-04	R-5-1	伸縮包帯 ニュースタイ N3	Newstie N3	10
	R0205-05	R-5-1	伸縮包帯 ニュースタイ N4	Newstie N4	10
	R0205-06	R-5-1	伸縮包帯 ニュースタイ N5	Newstie N5	10
	R0205-07	R-5-1	リスター 14.5CM (マイカカト包帯剪刀)	Lister bandage scissors TKZ-F2357 14.5cm	6
	R0205-08	R-5-1	手術用マスク M-302S 滅菌済	Operation mask M-302S sterilized	10
	R0205-09	R-5-1	薬杯 ST 50cc	Medicine spoon st 50ml	10
	R0205-10	R-5-1	綿棒 木軸 両綿 1A754D	Cotton applicator 1A754D	50

別添2：携行機材リスト

R-NO.	機材番号	収納	機材名	英文名	在庫数
	R0205-11	R-5-1	フェザーカミソリ (ナイフ型)	shaving set	40
14-②	R0205-12	R-5-1	軍手	glove	1
	R0205-13	R-5-1	トランスポア 1インチ (サージ加テープ・12巻/箱)	Trance pore 1INCH	12
	R0205-14	R-5-1	トランスポア 1/2インチ (サージ加テープ・24巻/箱)	Trance pore 1/2INCH	48
	R0205-15	R-5-1	スキนครロージャー R-1541 6×75mm (50枚/箱)	Skin cloager	50
	R0205-16	R-5-1	バンドエイド S (Junior/100枚入)	Band aid S	200
	R0205-17	R-5-1	テープ付ガーゼ (サージパッド・20袋/箱)	gauze 857INCH	20
	R0205-18	R-5-1	テープ付ガーゼ (サージパッド・20袋/箱)	gauze 559INCH	20
	R0205-19	R-5-2	ペンライト (ディスポ式)	pen light (disposable)	6
	R0205-20	R-5-2	自動巻尺 2m	Automatic tape measure 2M	3
	R0205-21	R-5-2	手洗ブラシ NO.66 耐熱白ナイロン	Hand brush No.66 heart resisting ,white ,nylon	7
	R0205-22	R-5-2	プラスチック壺 5g (100個/袋)	Plastic pod 5G	100
	R0205-23	R-5-2	薬袋 100×140×0.04mm (ユニパック E-4・200枚/袋)	Unipack E-4 10×14cm	200
	R0205-24	R-5-2	スキนครロージャー R-1541 6×75mm (50枚/箱)	Skin cloager	50
	R0205-25	R-5-3	タイコス血圧計 DR-A2	Tycos sphygmomanometer DR-A2	3
	R0205-26	R-5-3	小児用 マンシエット E	Velcro cuff for infant ,E	1
	R0205-27	R-5-3	小児用 マンシエット D	Velcro cuff for infant ,D	1
	R0205-28	R-5-3	手洗ブラシ T6 (M5)	Hand brush No.66 heart resisting ,white ,nylon	1
	R0205-29	R-5-4	打診器 (新米式)	Percussion hammer	3
	R0205-30	R-5-4	電子体温計実測式 抗菌防水 (MC-107BW)	Electronic thermometer (MC-3BW)	6
	R0205-31	R-5-4	ソフラチュール10×10cm	fradiomycin sulfate (sofratulle)	60
	R0205-32	R-5-5	聴診器 リットマタイプ	Stethoscope ,littman type	9
	R0205-33	事務局	カルテ (英語版)	clinical chart	
15	R0206-01		医療資機材セット R0206	Medical equipment	1
	R0206-02	R-6	ディスポーザブル 舌圧子6inch(15cm)	Disposable tongue depressor	400
	R0206-03	R-6	ニュースタイ N3	Newstie N3 10rolls	10
	R0206-04	R-6	ニュースタイ N4	Newstie N4 10rolls	10
	R0206-05	R-6	ニュースタイ N5	Newstie N5 10rolls	10
	R0206-06	R-6	プラスチック壺 5g (100個/箱)	Plastic pod 5G 100pcs	1900
	R0206-07	R-6	薬袋 100×140×0.04mm (ユニパック E-4・200枚/袋)	Unipack E-4 10×14cm	1800
	R0206-08	R-6	ノーボン (ディスポ) K-1	Disposable kidney dish K-1	40
	R0206-09	R-6	綿棒 木軸 両綿 1A754D	Cotton applicator	500
16	R0207-01		医療資機材セット R0207	Medical equipment	1
	R0207-02	R-7	翼付針セット 21G	Infusion set with wings 21G	50
	R0207-03	R-7	翼付針セット 25G	Infusion set with wings 25G	50
	R0207-04	R-7	ディスポ注射器 2.5mL	Disposable syringe 2.5ML	100
	R0207-05	R-7	ディスポ注射器 10mL	Disposable syringe 10ML	100
	R0207-06	R-7	輸液セット (標準型)	Infusion set (infant)	10
	R0207-07	R-7	輸液セット (標準型)	Infusion set (infant)	85
	R0207-08	R-7	輸液セット (小児用)	Infusion set (standard)	8
	R0207-09	R-7	輸液セット (小児用)	Infusion set (standard)	87
	R0207-10	R-7	フィーディングチューブ 8FR 長さ106cm	Feeding tube	50
	R0207-11	R-7	ディスポ注射器 50mL	Disposable syringe 50ML	20
17	R0208-01		医療資機材セット R0208	Medical equipment	1
	R0208-02	R-8	滅菌済手術手袋 サンソフト6.5	Steril surgical glove, sansoft 6.5	50
	R0208-03	R-8	滅菌済手術手袋 サンソフト7	Steril surgical glove, sansoft 7	50
	R0208-04	R-8	滅菌済手術手袋 サンソフト7.5	Steril surgical glove, sansoft 7.5	50
	R0208-05	R-8	タオル 上物 白色	Towel ,high quality ,white	10
18	R0209-01		医療資機材セット R0209	Medical equipment	1
	R0209-02	R-9	ハイギブスシート 3製 幅10cm×4.5M	New high gypsum sheet	26
	R0209-03	R-9	キャストリングテープ 3インチ 7.6cm×3.6m	Super cast 3 inch	16
	R0209-04	R-9	キャストリングテープ 5インチ 12.7cm×3.6m	Super cast 5 inch	16
	R0209-05	R-9	サムスプリント (ロール型万能副子) SAM488 108×488mm	Endulia splint	12
	R0209-06	R-9	NO3 アルミ副子 1×75×400mm	Alfence splint No.3	12
	R0209-07	R-9	NO4 アルミ副子 1×100×400mm	Alfence splint No.4	6
19	R0210-01		医療資機材セット R0210	Medical equipment	1
	R0210-02	R-10	手術用マスク M-302S 滅菌済	Operation mask M-302S sterilized	100
	R0210-03	R-10	スパイナル針 22GX3inch 76mm	Spinal needle 22G×3	50
	R0210-04	R-10	携帯用煮沸消毒器 27cm	portable boiling sterilizer	1
	R0210-05	R-10	救急用人工蘇生器 (手動式) AIW-3	Resusciator (manual) AIW-3	1
19-②	R0210-06	R-10	マッキントッシュ氏喉頭鏡用ブレード 大 (3)	Mackintosh laryngoscope blade large	1
	R0210-07	R-10	マッキントッシュ氏喉頭鏡用ブレード 中 (2)	Mackintosh laryngoscope blade middle	1
	R0210-08	R-10	マッキントッシュ氏喉頭鏡用ブレード 小 (1)	Mackintosh laryngoscope blade small	1
	R0210-09	R-10	マッキントッシュ氏喉頭鏡用ブレード 極小 (0)	Mackintosh laryngoscope blade very small	1
	R0210-10	R-10	マッキントッシュ氏喉頭鏡用ハンドル	Mackintosh laryngoscope handle	1
	R0210-11	R-10	気管内チューブ カフ無 NO3.5	Endotracheal tube , w/o cuff No.3.5	1
	R0210-12	R-10	気管内チューブ カフ無 NO4	Endotracheal tube , w/o cuff No.4	1

別添2：携行機材リスト

R-NO.	機材番号	収納	機材名	英文名	在庫数
	R0210-13	R-10	気管内チューブ カフ無 NO4.5	Endotracheal tube, w/o cuff No. 4.5	1
	R0210-14	R-10	気管内チューブ カフ無 NO5	Endotracheal tube, w/o cuff No. 5	1
	R0210-15	R-10	気管内チューブ カフ無 NO6	Endotracheal tube, w/o cuff No. 6	1
	R0210-16	R-10	気管内チューブ カフ付 NO7	Endotracheal tube, w/ cuff No. 7	1
	R0210-17	R-10	気管内チューブ カフ付 NO7.5	Endotracheal tube, w/ cuff No. 7.5	1
	R0210-18	R-10	気管内チューブ カフ付 NO8	Endotracheal tube, w/ cuff No. 8	1
	R0210-19	R-10	気管内チューブ カフ付 NO8.5	Endotracheal tube, w/ cuff No. 8.5	1
	R0210-20	R-10	スタイレット 大	Stylet, large	1
	R0210-21	R-10	バイドブロック 大	bite block, large	1
	R0210-22	R-10	バイドブロック 中	bite block, middle	1
	R0210-23	R-10	バイドブロック 小	bite block, small	1
	R0210-24	R-10	サージカルキャップ ディスポーザブル CC-802A	Surgical cap, disposable, CC-802A	200
	R0210-25	R-10	ユリケアー閉鎖式導尿バック 1セット1個入り	uricure bag, closed system	5
20	R0211-01		医療資機材セットR0211	Medical equipment	1
	R0211-02	R-11	紙オムツ 大人用	paper diaper for adult	50
	R0211-03	R-11	サージカルテープ 50mm×9.0m (オートクレーブ)	sergical tape 50 ×9.0m?	6
	R0211-04	R-11	サージカルテープ 12mm×9.0m (オートクレーブ)	sergical tape 12 ×9.0m?	24
	R0211-05	R-11	採尿コップ 200ml	Harun Cup	265
	R0211-06	R-11	カットメン 500g 脱脂綿	Cotton 500g	1
	R0211-07	R-11	バンドエイド L (100枚入)	Band aid L	200
	R0211-08	R-11	バンドエイド S (Junior/100枚入)	Band aid S	100
21	R0212-01		医療資機材セットR0212	Medical equipment	1
	R0212-02	R-12	ニュースタイ N3	Newstie N3	90
	R0212-03	R-12	ニュースタイ N4	Newstie N4	90
	R0212-04	R-12	ニュースタイ N5	Newstie N5	90
22	Z0006	-	ソルラクト 10L	Solulact 10L	10
23	Z0007	-	ソルラクト 10L	Solulact 10L	10
24	Z0008	-	ソルラクト 10L	Solulact 10L	10
25	Z0056	-	生理食塩液 10L	Sodium Chloride Solution 10L	10
26	Z0057	-	生理食塩液 10L	Sodium Chloride Solution 10L	10
27	Z0058	-	生理食塩液 10L	Sodium Chloride Solution 10L	10
28	L0101-01		脱脂綿	Cotton	100
	L0101-02		脱脂綿	Cotton	3500
	L0101-03		脱脂綿	Cotton	250
	L0101-04		脱脂綿	Cotton	2000
29	L0102-01		バンドエイド 医家向包装	Adhesive tape	8000
	L0102-02		バンドエイド 医家向包装	Adhesive tape	500
	L0102-03		バンドエイド 医家向包装	Adhesive tape	1000
	L0102-04		バンドエイド 医家向包装	Adhesive tape	500
	L0102-05		バンドエイド 医家向包装	Adhesive tape	500
30	L0103-01		救急絆創膏 QQパン	Adhesive tape L	500
	L0103-02		救急絆創膏 QQパン	Adhesive tape M	1000
	L0103-03		救急絆創膏 QQパン	Adhesive tape M	200
	L0103-04		救急絆創膏 QQパン	Adhesive tape M	300
	L0103-05		救急絆創膏 QQパン	Adhesive tape S	600
	L0103-06		救急絆創膏 QQパン	Adhesive tape S	900
	L0103-07		救急絆創膏 QQパン	Adhesive tape P	400
	L0103-08		救急絆創膏 QQパン	Adhesive tape F	60
	L0103-09		ディズ*メディカル クレン	Crenme	10
	L0103-10		ディズ*メディカル クレン	Crenme	10
	L0103-11		ディズ*メディカル クレン	Crenme	10
	L0103-12		ディズ* ニードルホルダー	Needle holder	10
30-②	L0103-13		ディズ* 注射針抜取鉗子	Pinchers	10
	L0103-14		ディズ*ピンセット (オートクレーブ不可)	Tweezers	25
	L0103-15		ディズ*ピンセット (オートクレーブ不可)	Tweezers	25
	L0103-16		ディズ*ピンセット (オートクレーブ不可)	Tweezers	25
	L0103-17		ディズ*ピンセット (オートクレーブ不可)	Tweezers	25
	L0103-18		ディズ*ピンセット (オートクレーブ不可)	Tweezers	25
	L0103-19		ディズ*ピンセット (オートクレーブ不可)	Tweezers	25
	L0103-20		ディズ*カールピンセット	Tweezers	10
	L0103-21		ディズ*ピンセット (オートクレーブ可能)	Tweezers	10
	L0103-22		ディズ*ハサミ	Shears	10
	L0103-23		ディズ*メディカルハサミ	Shears	10
31	L0104-01		伸縮性テープ	Tape	72
	L0104-02		伸縮性テープ	Tape	48
	L0104-03		伸縮性テープ	Tape	24
32	L0105-01		ニチバン (絆創膏)	Tape	10

別添2：携行機材リスト

R-NO.	機材番号	収納	機材名	英文名	在庫数
	L0105-02		ニチバン (絆創膏)	Tape	10
	L0105-03		ニチバン (絆創膏)	Tape	10
	L0105-04		ニチバン (絆創膏)	Tape	10
	L0105-05		ニチバン (絆創膏)	Tape	10
	L0105-06		紙バン	Tape	60
33	L0106-01		アミホータイ	Bandage	5
	L0106-02		アミホータイ	Bandage	5
	L0106-03		アミホータイ	Bandage	5
	L0106-04		アミホータイ	Bandage	5
	L0106-05		アミホータイ	Bandage	5
	L0106-06		アミホータイ	Bandage	5
34	L0107-01		包帯 (耳付綿ホータイ)	Bandage	5
	L0107-02		包帯 (耳付綿ホータイ)	Bandage	5
	L0107-03		包帯 (耳付綿ホータイ)	Bandage	5
	L0107-04		包帯 (耳付綿ホータイ)	Bandage	10
	L0107-05		包帯 (耳付綿ホータイ)	Bandage	10
	L0107-06		包帯 (耳付綿ホータイ)	Bandage	5
	L0107-07		pH試験紙	pH Test paper	2
	L0107-08		pH試験紙	pH Test paper	2
	L0107-09		ワックスクリンパッドグローブ	Gloves	0
	L0107-10		ワックスクリンパッドグローブ	Gloves	100
	L0107-11		ワックスクリンパッドグローブ	Gloves	100
35	L0108-01		エースタイH (伸縮包帯)	Bandage	50
	L0108-02		エースタイH (伸縮包帯)	Bandage	50
	L0108-03		エースタイH (伸縮包帯)	Bandage	50
36	L0109-01		脱脂綿	Cotton	1250
	L0109-02		日本薬局方ガーゼ タイプ1	Gauze	750
	L0109-03		日本薬局方ガーゼ タイプ1	Gauze	750
	L0109-04		日本薬局方ガーゼ タイプ1	Gauze	750
37	L0110-01		ステラーゼ滅菌パック入	Gauze	500
	L0110-02		ステラーゼ滅菌パック入	Gauze	500
38	L0111-01		ステラーゼ滅菌パック入	Gauze	500
	L0111-02		ステラーゼ滅菌パック入	Gauze	500
	L0111-03		ステラーゼ滅菌パック入	Gauze	500
	L0111-04		ステラーゼ滅菌パック入	Gauze	500
	L0111-05		テトラゼ滅菌パック入	Gauze	300
	L0111-06		テトラゼ滅菌パック入	Gauze	100
	L0111-07		テトラゼ滅菌パック入	Gauze	100
	L0111-08		テトラゼ滅菌パック入	Gauze	10
39	L0112-01		日本薬局方ガーゼ タイプ	Gauze	500
	L0112-02		日本薬局方ガーゼ タイプ	Gauze	500
	L0112-03		日本薬局方ガーゼ タイプ	Gauze	500
	L0112-04		日本薬局方ガーゼ タイプ	Gauze	500
	L0112-05		日本薬局方ガーゼ タイプ	Gauze	500
39-②	L0112-06		ワンショット (消毒用アルコール)	Cotton	100
	L0112-07		ワンショット (消毒用アルコール)	Cotton	550
	L0112-08		翼付静注針セット	Infusion set with wings 27G	500
40	L0113-01		圧迫粘着包帯	Bandage	78
	L0113-02		圧迫粘着包帯	Bandage	52
	L0113-03		圧迫粘着包帯	Bandage	26
41	L0114-01		圧迫粘着包帯	Bandage	24
	L0114-02		圧迫粘着包帯	Bandage	24
42	L0115-01		診療セット	Medical Set	1
	L0115-02		脱脂綿	cotton	0
	L0115-03		包帯	Bandage	6
	L0115-04		包帯	Bandage	25
	L0115-05		バンドエーヅテープ	Bandage	15
	L0115-06		バンドエーヅテープ	Bandage	1
	L0115-07		ニュースタイ	Bandage	4
	L0115-08		ホルタイ	Bandage	1
	L0115-09		サージカテーブ	Surgical Tape	2
	L0115-10		ロープ	rope	0
	L0115-11		ガゼ	clothes	35
	L0115-12		三角巾	clothes	4
	L0115-13		サージパッド	Surgical Pad	3
	L0115-14		茶色テープ	tape	3
43	L0116-01		生理食塩液 1L	Sodium Chloride Solution	1

別添2：携行機材リスト

R-NO.	機材番号	収納	機材名	英文名	在庫数
	L0116-02		生理食塩液 500ml	Sodium Chloride Solution	2
	L0116-03		ﾊﾞｲｸﾘﾙ 針付縫合糸 1/2丸針 17mm	Surgical string	96
	L0116-04		ﾊﾞｲｸﾘﾙ 針付縫合糸 1/2丸針 17.4mm	Surgical string	96
	L0116-05		ｶﾞｽﾌﾟﾘﾝﾄ	sum sprint	4
	L0116-06		液体キャリア	currier	4
	L0116-07		ﾈｰｽﾀｲ	Bandage	10
	L0116-08		ﾃﾞｲｽﾞ ｸﾞﾗｽﾃｯｸ手袋	Gloves	24
	L0116-09		柄付ﾏｽ (ﾃﾞｲｽﾞ)	scissors	20
	L0116-10		ﾏｽ (ﾃﾞｲｽﾞ 刃)	surgical knife	100
	L0116-11		ｷﾞﾌﾞﾝｸﾞﾃｰﾌﾟ	Chasting Tape	10
	L0116-12		ｷﾞﾌﾞﾝｸﾞﾃｰﾌﾟ	Chasting Tape	3
	L0116-13		ｷﾞﾌﾞﾝｸﾞﾃｰﾌﾟ	Chasting Tape	10
	L0116-14		ﾃﾞｲｽﾎﾟｰｻﾞﾌﾞﾙ 舌圧子	Disposable tongue depressor	87
	L0116-15		P包帯	Bandage	5
	L0116-16		ﾊﾞｲﾄﾞ包帯	Bandage	1
	L0116-17		ﾊﾞｲﾄﾞ包帯	Bandage	1
	L0116-18		ｼﾘﾝｼﾞ	Syringe	7
	L0116-19		ｼﾘﾝｼﾞ	Syringe	2
	L0116-20		ｼﾘﾝｼﾞ	Syringe	7
	L0116-21		ｸｴｾｯﾄA/B各1	Cure set	0
	L0116-22		柄付ﾏｽ (ﾃﾞｲｽﾞ)	surgical knife	9
	L0116-23		ﾃﾞｲｽﾞ ｵｰﾈﾙ等	scissors	0
	L0116-24		ｷﾞﾌﾞﾝ用縛包帯	Bandage	5
44	Y0301-01		日用品セットY0301	Daily neccesity	1
	Y0301-02		強カライト (蛍光灯付)	Torch W/fluorescent light	2
	Y0301-03		補給用キャンドル (3本入)	Candle	42
	Y0301-04		3徳スコップ	Schovel	1
	Y0301-05		蚊取線香	Insecticide	200
	Y0301-06		ファイル	File	2
	Y0301-07		ファイルカラー仕切りカード	Filing card	48
	Y0301-08		穴あけパンチ	Puncher	1
	Y0301-09		単1アルカリ乾電池	Dry battery	10
	Y0301-10		単2アルカリ乾電池	Dry battery	10
	Y0301-11		単3アルカリ乾電池	Dry battery	10
	Y0301-12		トランジスタラジオ	Transistor radio	1
	Y0301-13		双眼鏡	binocular	1
44-②	Y0301-14		目覚まし時計	Clock	2
45	Y0302-01		日用品セットY0302	Daily necessity	1
	Y0302-02		コッヘル	Pan	1
	Y0302-03		やかん	Kettle	1
	Y0302-04		まな板セット (包丁付)	Chopping board	1
	Y0302-05		カップ	Cup	12
	Y0302-06		食器セット	Dinner set	4
	Y0302-07		プラスチックボール	Plastic bowl	20
	Y0302-08		プラスチックカレー皿	Plastic dish	20
	Y0302-09		割り箸	Chopsticks	100
	Y0302-10		布たわし	Scrubbing brush	3
	Y0302-11		ふきん	Dishcloth	5
	Y0302-12		ポリタンク	Polyethylene container	2
	Y0302-13		ポリタンク	Polyethylene container	2
	Y0302-14		ポリタンク	Polyethylene container	4
	Y0302-15		缶切り	Can opener	1
	Y0302-16		食器洗剤中性洗剤	Detergent	600
	Y0302-17		クレンザー	Cleaning material	400
	Y0302-18		タオル	Towel	5
46	Y0303-01		日用品セットY0303	Daily necessity	1
	Y0303-02		ティッシュペーパー	Tissue paper	2800
	Y0303-03		トイレトペーパー	Toilet paper	24
	Y0303-04		石鹸	Soap	24
	Y0303-05		粉石鹸	Soap powder	1350
	Y0303-06		ドライバーセット	Screw driver set	1
	Y0303-07		貫通ドライバー (プラス)	Screw driver	1
	Y0303-08		貫通ドライバー (マイナス)	Screw driver	1
	Y0303-09		折りたたみのこぎり	Saw	1
	Y0303-10		なた	Hatchet	1
	Y0303-11		ニッパー	Nipper	1
	Y0303-12		電工ペンチ	Pench	1

別添2：携行機材リスト

R-NO.	機材番号	収納	機材名	英文名	在庫数
	Y0303-13		釘抜き付ハンマー	Hammer	1
	Y0303-14		剪定ハサミ	scissors	1
	Y0303-15		裁縫セット	Sewing kit	1
	Y0303-16		ほうき	Broom	1
	Y0303-17		鉛筆 (HB)	Stationery	12
	Y0303-18		シャーペン (0.5mm)	Stationery	5
	Y0303-19		シャーペン芯	Stationery	80
	Y0303-20		消しゴム	Stationery	5
	Y0303-21		コンパス	Stationery	1
	Y0303-22		定規 (30cm)	Stationery	2
	Y0303-23		メジャー (10m)	Stationery	1
	Y0303-24		ホッチキス普通サイズ	Stationery	4
	Y0303-25		ホッチキス普通サイズ用針	Stationery	10000
	Y0303-26		修正液 テープタイプ	Stationery	2
	Y0303-27		修正液 リキッドタイプ	Stationery	4
	Y0303-28		ミニ鉛筆削り	Stationery	1
	Y0303-29		ポストイット (大)	Stationery	1000
	Y0303-30		ポストイット (中)	Stationery	2000
	Y0303-31		ポストイット (小)	Stationery	4000
	Y0303-32		クリアホルダー (透明)	Stationery	40
	Y0303-33		蛍光ペン (黄色)	Stationery	10
	Y0303-34		蛍光ペン (緑色)	Stationery	10
	Y0303-35		ばさみ	Stationery	4
	Y0303-36		カッター	Stationery	10
	Y0303-37		クッキングストーブとナベ	Stove and Pan	1
47	Y0304-01		日用品セットY0304	Daily necessity	1
	Y0304-02		乾湿温度計	Hydro-thermometer	1
	Y0304-03		ボールペン 黒	Ball-point pen	15
47-②	Y0304-04		ボールペン 赤	Ball-point pen	15
	Y0304-05		油性マジック 黒色	Dry ink	4
	Y0304-06		油性マジック	Dry ink	3
	Y0304-07		マジック	Dry ink	1
	Y0304-08		ノート	Note book	5
	Y0304-09		用せんバサミ	Paper holder	12
	Y0304-10		セロテープ	Cellophane tape	2
	Y0304-11		のり	Paste stick	5
	Y0304-12		一般用瞬間接着剤	Adhesive	2
	Y0304-13		タグタイトル 白	Tag title	10
	Y0304-14		ビニールテープ	Color tape	6
	Y0304-15		封筒	Envelop	10
	Y0304-16		封筒	Envelop	26
	Y0304-17		封筒	Envelop	90
	Y0304-18		クリップ	Paper clip	100
	Y0304-19		クリップ	Paper clip	500
	Y0304-20		電卓	Calculator	2
	Y0304-21		ガムテープ	Gum tape	5
	Y0304-22		凧糸	Kite string	100
	Y0304-23		輪ゴム	Rubber band	100
	Y0304-24		フィルム	Film	20
	Y0304-25		ポリ袋	Polyethylene bag	100
	Y0304-26		ポリ袋	Polyethylene bag	100
	Y0304-27		ポリ袋	Polyethylene bag	120
	Y0304-28		軍手	Gloves	30
	Y0304-29		防水スプレー	Waterproof spray	2
	Y0304-30		メモ用紙	Memo paper	5
	Y0304-31		爪切り	Nail clipper	2
	Y0304-32		ザイル (ロープ)	Rope	1
	Y0304-33		厚紙	Cardboard	100
	Y0304-34		ペーパーボックス	Carte box	5
	Y0304-35		燃料給油ポンプ	Hand pump	1
	Y0304-36		漏斗	Funnel	1
	Y0304-37		国旗	National flag	2
	Y0304-38		クッキングストーブとナベ	Stove and Pan	1
48	A1604		コードリール	cord reel (5A/125V)	3
49	A5103		燃料携行缶 (ガソリン缶)	Fuel Container	1
50	A5204		毛布	blanket	10
51	A5205		毛布	blanket	10

別添2：携行機材リスト

R-NO.	機材番号	収納	機材名	英文名	在庫数
52	B0209		エアテント・小型	air tent (small)	1
53	B0210		エアテント・小型 付属品	parts of air tent	1
54	B0211		エアテント・小型	air tent (small)	1
55	B0212		エアテント・小型 付属品	parts of air tent	1
56	B0706		タープ (日除け用テント)	tent	1
57	B0707		タープ (日除け用テント)	tent	1
58	B0708		タープ (日除け用テント)	tent	1
59	B1105		簡易組立トイレ	toilet	1
60	B1106		簡易組立トイレ	toilet	1
61	B1202		折り畳みベッド	GI bed	2
62	B1203		折り畳みベッド	GI bed	2
63	B1204		折り畳みベッド	GI bed	2
64	B1205		折り畳みベッド	GI bed	2
65	B1300		折り畳み机 (ポータブルテーブル)	table	3
66	B1305		折り畳み机 (ポータブルテーブル)	table	3
67	B1407		折り畳み椅子	chair	6
68	B1408		折り畳み椅子	chair	6
69	B3014		シュラフ	sleeping bag	20
70	B3707		防水シート	vinyl sheet	5
71	B3708		防水シート	vinyl sheet	5
72	B3801		浄水器	water purifier	1
73	B4312		発電機	generator	1
74	B4313		発電機	generator	1
75	B4314		発電機	generator	1
76	B4421		フルーツ缶詰 (バナナ)	food	80
77	B4423-01		ポカリスウェット	food	160
	B4423-02		フルーツ缶詰 (桃)	food	7
	B4423-03		フルーツ缶詰 (みかん)	food	10
78	B4452-01		レトルトシチュー	food	25
	B4452-02		レトルト中華丼	food	25
	B4452-03		インスタントスープ	food	40
	B4452-04		インスタントスープ	food	24
	B4452-05		割り箸	table ware	100
	B4452-06		先割れスプーン	table ware	100
	B4452-07		紙コップ	table ware	100
	B4452-08		紙皿 (深皿タイプ)	table ware	100
	B4452-09		ゴミ袋 (大)	disposal bag	50
	B4452-10		ゴミ袋 (中)	disposal bag	50
	B4452-11		ゴミ袋 (小)	disposal bag	50
	B4452-12		ガムテープ (白)	stationary	5
	B4452-13		マジック (黒)	stationary	5
79	B4568		ミネラルウォーター	drinking water	12
80	B4569		ミネラルウォーター	drinking water	12
81	B4570		ミネラルウォーター	drinking water	12
82	B4571		ミネラルウォーター	drinking water	12
83	B4572		ミネラルウォーター	drinking water	12
84	B4573		ミネラルウォーター	drinking water	12
85	B4574		ミネラルウォーター	drinking water	12
86	B4575		ミネラルウォーター	drinking water	12
87	B4576		ミネラルウォーター	drinking water	12
88	B4577		ミネラルウォーター	drinking water	12
89	B4578		ミネラルウォーター	drinking water	12
90	B4641		総合ビタミン	vitamin	20
91	B4651		ウナ虫除けスプレー	insect repellent	35
92	B5153		ロッジ型テント	Lodge Tent	1
93	B5154		ロッジ型テント	Lodge Tent	1
94	B5155		ロッジ型テント	Lodge Tent	1
95	A5113		トランス (1.5KVA in220V out100V)	Transformer	1
96			アルファ-米等	Food	50
97			アルファ-米等	Food	50
98			アルファ-米等	Food	50
99			アルファ-米等	Food	50
100			アルファ-米等	Food	50
101			T shorts (L:40, LL:20)	T shorts	60

3. 活動報告書

**(先方保健省に提出：含・公衆衛生チラシ（仏・アラビア語）、
トイレ関連資料、キャンプ内概要図)**

別添 3 : 活動報告書 (アルジェリア保健省提出)

**Rapport des activités de l'équipe médicale du Japon
pour le secours d'urgence suite au séisme en Algérie**

5 Juin 2003

Equipe médical du Japon pour le secours d'urgence

Chef de l'équipe : M. Masao KOBAYASHI

Chef Ajoint de l'équipe : Dr. Shigeki ASAHI

Chef Ajoint de l'équipe : M. Hideki SAKATA

S. E. M. Abdelhamid Aberkane
Ministre de la Santé, de la Population,
et de la Réforme hospitalière

Monsieur le Ministre,

Un grand tremblement de terre s'est produit en Algérie le soir du 21 mai 2003. Comme c'est le cas dans ce genre de catastrophe, les premiers des soins médicaux sont d'une extrême urgence pour la population sinistrée. C'est la raison, pour laquelle le Gouvernement du Japon a dépêché une équipe médicale composée de 22 membres pour apporter les secours d'urgence. Nous sommes arrivés à Alger le 26 mai 2003 après l'envoi de l'équipe de sauvetage.

Du 27 mai 2003 au 5 juin 2003, l'équipe médicale a effectué des consultations médicales à Zemmouri dans la Wilaya de Bourmédès. Pour les personnes sauvées et évacuées de leur maisons démolies et qui vivent dans des camps organisés sous des tentes. Nous avons déployées tous nos efforts et nos moyens pour apporter aide et assistance à cette population de Zemmouri.

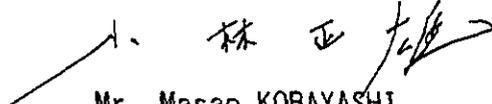
Loin de nous est la prétention d'avoir soulagé tous les maux dont souffrent la population, mais néanmoins nous pensons avoir réussi à donner un peu de réconfort et des soins d'urgence, ainsi que des soins d'hygiène et de propreté surtout pour les enfants et les femmes, et les personnes âgées.

A la veille de notre départ de Zemmouri, nous avons l'honneur de vous transmettre un rapport contenant toutes les informations sur le déroulement de nos activités sur site et toutes les remarques et suggestions qui peuvent être utiles pour la structure médicales algériennes qui va prendre en charge et continuer notre travail avec la population, avec les moyens dont nous disposons et que nous laissons sur place.

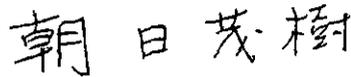
Nous espérons très sincèrement, un retour rapide à la vie normale de tous ces hommes, femmes et enfants touchés et durement épourvés par le tremblement de terre.

Grace à la vigilance et au soutien des autorités de la wilaya de Boumerdes et de la population de Zemmouri, notre mission s'est déroulée sans aucun incident et en toute sécurité, ce qui nous a permis d'accomplir notre mission à Zemmouri. Nous tenons à les remercier vivement.

En nous remerciant de l'accueil chaleureux et fraternel qui a été réservé à notre équipe, je vous prie Monsieur le Ministre d'agréer l'expression de notre profond respect.

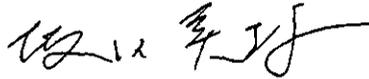


Mr. Masao KOBAYASHI
Chef de l'équipe



Dr. Shigeki ASAHI
Chef Adjoint de l'équipe

Mr. Hideki SAKATA
Chef Adjoint de l'équipe



Le 5 juin 2003

L'envoi d'une équipe médicale du Japon pour le secours d'urgence
suite au séisme en Algérie

Le Gouvernement japonais a décidé le 24 mai 2003 de dépêcher en République algérienne démocratique et populaire l'équipe médicale japonaise de secours d'urgence suite à la catastrophe naturelle et ce à la demande du gouvernement algérien le 22 mai 2003.

Dix neuf membres composant l'équipe médicale sont arrivés en Algérie le 26 mai et ont commencé les consultations médicales le 27 mai 2003 au niveau du stade de Zemmouri dans la wilaya de Boumerdes où les personnes affectées par le tremblement de terre ont été rassemblées et qui vivent dans des abris temporaires.

Deux autres membres de l'équipe de recherche et de secours, un responsable du groupe et un responsable de la logistique ont rejoint l'équipe médicale japonaise le 26 mai 2003.

L'équipe qui se compose de 22 membres dont 4 médecins, 7 infirmières, 1 pharmacien et des personnes chargées de la logistique, s'est engagée à dispenser des soins médicaux à la population de Zemmouri.

Durant une période de 10 jours entre le 26 mai et le 4 juin l'équipe médicale a ausculté 1614 personnes au camps de zemmouri. Parmi ces patients il y a 649 hommes, 953 femmes et 51 bébés.

Durant cette période l'équipe s'est également efforcée de faire prendre conscience à la population sinistrée des mesures d'hygiène à observer au terme de ses activités. L'équipe médicale a remis tous les médicaments ainsi que l'équipement médical aux autorités sanitaires du gouvernement algérien.

Ci-après se trouve le programme des activités.

Suggestions et recommandations suite aux consultations médicales

I Sur le plan de la consultation médicale.

1 Nous avons installé une clinique dans l'enceinte du stade de Zemmouri où vivent plus de cent trente familles et plusieurs groupes autre que les équipes médicales, comme la police, la protection civile qui accomplissent leur devoir. Tout au début, nous n'avons pas trouvé l'équipe chargée de la coordination et de l'administration de cette zone et de ce fait il n'y avait pas de réunions de coordination. Nous recommandons la tenue régulière de réunions de coordination avec membres des équipes d'intervention au niveau du stade d'une part, et la cellule de crise au niveau de la wilaya d'autre part.

2 Nous avons reçu des patients ayant des problèmes d'ordre chirurgicale résultant du séisme, des patients souffrant de maladies graves et d'autres de maladies chroniques. Aussi bien nous que l'équipe médicale algérienne, avons fait face à ces besoins médicaux. Nous avons également reçu des patients souffrant de problèmes ophtalmologiques et dermatologiques. Malheureusement, nous n'avons pas pu contacter des spécialistes pour régler ces problèmes. Ainsi nous recommandons des dermatologues et des ophtalmologues soient installés sur le site muni d'équipement approprié.

3 Au début, nous avons reçu beaucoup de patients souffrant de problèmes psychiatriques. Nous avons été heureux de constater la présence de psychiatres parmi l'équipe médicale algérienne. Nous suggérons la présence de pédopsychiatres au niveau du site le plus tôt possible.

4 Nous avons reçu un certain nombre de patients souffrant de plusieurs types de maladies chroniques, par exemple, Diabète, Hypertention, Rhumatismes etc. Ils ont besoin d'un suivi permanent. Aussi nous suggérons la mise en place d'un service de maladies chroniques.

5 Nous avons reçu des dons de médicaments offerts par des groupes dont nous avons apprécié la geste et les en remercions. Souvent, ces gestes manquaient de coordination et certains médicaments ne convenaient pas à une situation d'urgence. Aussi nous recommandons d'élaborer une liste de médicaments d'urgence selon la nomenclature internationale (ex. OMS, UNHCR et CICR) et d'organiser leur distribution.

6 Nous vous demandons de continuer à maintenir l'accès aux soins médicaux au profit des survivants.

II Sur le plan de la santé publique

1 Dès le début, il y avait abondance d'eau minérale et de pain au niveau du stade. Il y avait cependant un manque d'eau pour les besoins domestiques. Afin de préserver la santé et l'hygiène, cette eau est indispensable. Aussi nous recommandons l'approvisionnement en eau propre immédiatement après le désastre.

2 Dès le début, les soins médicaux et les soins mentaux furent dispensés au niveau du stade. Nous l'avons apprécié, nous avons cependant senti que les premiers soins en situation d'urgence n'étaient pas pris en considération. Nous avons essayé de donner des informations sur la protection sanitaire individuelle et de l'environnement par des pancartes et des feuillets (annexe). Aussi nous recommandons vivement de procéder à la prise en charge des premiers soins en situation d'urgence immédiatement après le séisme.

3 Nous recommandons avec insistance d'entreprendre une étude épidémiologique le plus tôt possible, ainsi qu'une évaluation de la situation sanitaire, tant ils revêtent un caractère important dans ce genre de situation d'urgence. L'étude et l'évaluation doivent se faire selon les normes internationales de l'OMS de L'UNHCR etc.

4 Nous avons fourni des masques médicaux aux patients présentant des symptômes de graves difficultés respiratoires pour prévenir toutes épidémies de maladies respiratoires graves. Il est recommandé de distribuer des masques médicaux appropriés afin de prévenir la propagation de ces

maladies.

5 On ne doit en aucun cas négliger les problèmes de santé des membres de la police, protection civile, l'armée et le personnel médical. Il est recommandé de prendre au sérieux les conditions de santé physique et mentale de ces personnes.

6 Il serait souhaitable de développer la formation de coordinateurs de la santé et les répartir afin qu'ils mettent en oeuvre les programmes de prise en charge des premiers soins.

Japan Disaster Relief Medical Team for Earthquake in People's Democratic Republic of Algeria (May 25, 2003 - Jun 7, 2003)

	Name	Assignment
1	Mr. KOBAYASHI MASAO *1	Leader
2	Mr. ASAHI SHIGEKI	Chief Doctor
3	Mr. SAKATA HIDEKI	Coordination
4	Mr. MITSUI KOJI *2	Evaluation
5	Mr. TOMIOKA JOJI	Doctor
6	Mr. YAMAHATA YOSHIHIRO	Doctor
7	Ms. NAGAI SHUKO	Doctor
8	Mr. KANAZAWA YUTAKA	Chief Nurse
9	Ms. ICHIKI AZUSA	Nurse
10	Ms. ISHIDA AKIKO	Nurse
11	Ms. TERAMURA SAHO	Nurse
12	Ms. YAMAMOTO MAYUMI	Nurse
13	Ms. NAKAMURA AKEMI	Nurse
14	Ms. TAKAOKA SEIKO	Nurse
15	Mr. WATANABE AKIHIRO	Pharmacist
16	Mr. ATSUSHI MIKI	Paramedic
17	Mr. HIGASHIDE NAOAKI	Paramedic
18	Mr. MAEBAYASHI KIYOKAZU	Coordination/Logistics
19	Mr. NAKAZAWA SHINZO	Coordination/Logistics
20	Mr. ONO TATSUO	Coordination/Logistics
21	Mr. OTOMO HITOSHI *1	Coordination/Logistics
22	Mr. USUI YOSHIKAZU	Coordination/Logistics

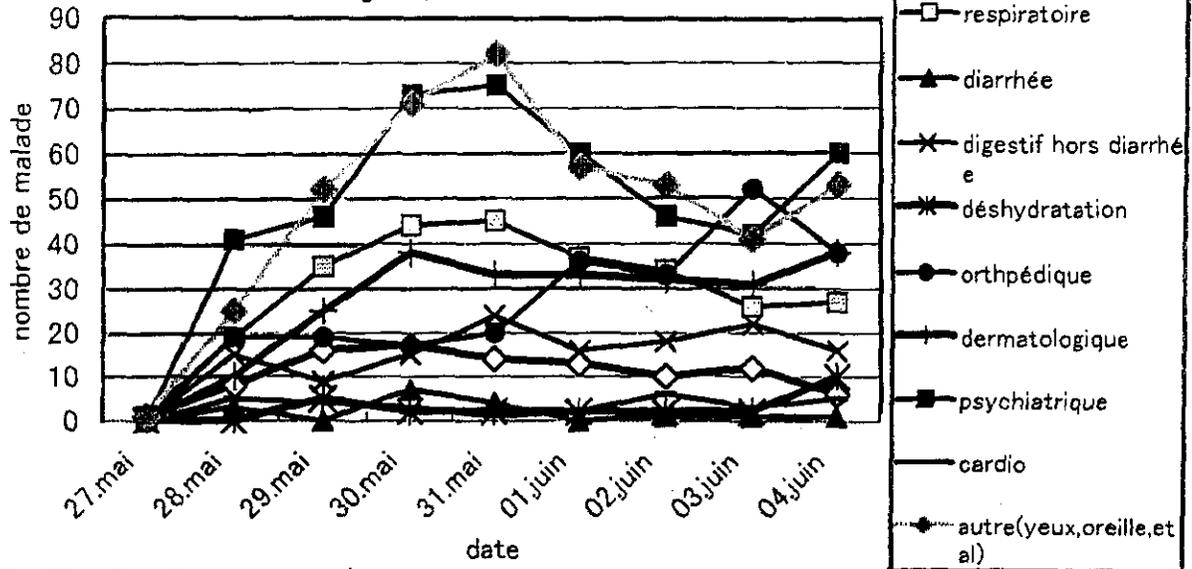
* 1 : May 28, 2003 - June 7, 2003

* 2 : May 31, 2003 - June 7, 2003

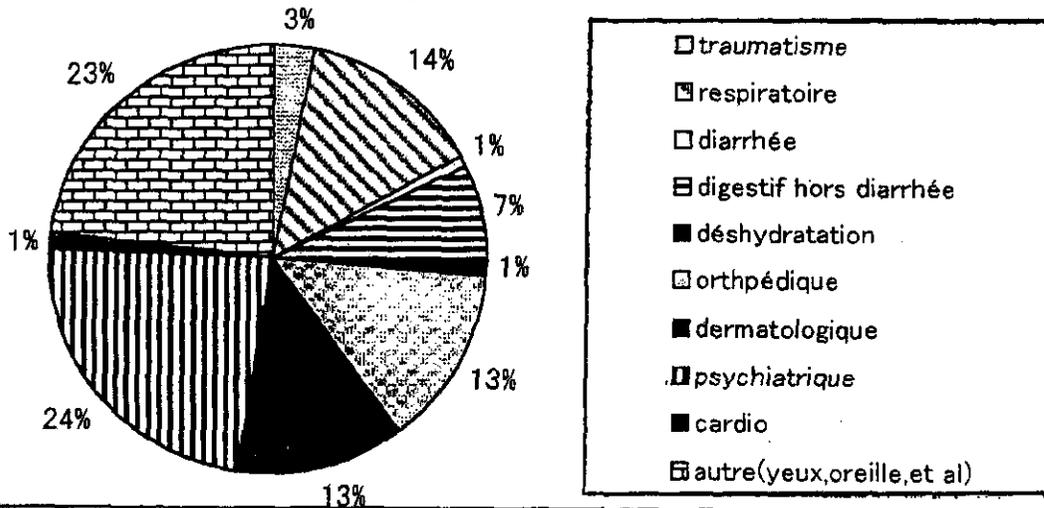
Schedule of Japan Disaster Relief Medical Team for Earthquake in Algeria

	Date	Activities	Accomodation
1	25. May	Departure from Tokyo	On board
2	26. May	Arrival in Paris and transfer to Algiers	Algiers
3	27. May	Disaster relief work in Zemmouri, Boumerdes	Algiers
4	28. May	Disaster relief work in Zemmouri, Boumerdes	Algiers
5	29. May	Disaster relief work in Zemmouri, Boumerdes	Algiers
6	30. May	Disaster relief work in Zemmouri, Boumerdes	Algiers
7	31. May	Disaster relief work in Zemmouri, Boumerdes	Algiers
8	1. Jun	Disaster relief work in Zemmouri, Boumerdes	Algiers
9	2. Jun	Disaster relief work in Zemmouri, Boumerdes	Algiers
10	3. Jun	Disaster relief work in Zemmouri, Boumerdes	Algiers
11	4. Jun	Disaster relief work in Zemmouri, Boumerdes	Algiers
12	5. Jun	Report to the Algerian government	Algiers
		Hand-over ceremony of equipment and medicine	
13	6. Jun	Departure to Paris and tranfer to Tokyo	On board
14	7. Jun	Arrival in Tokyo	

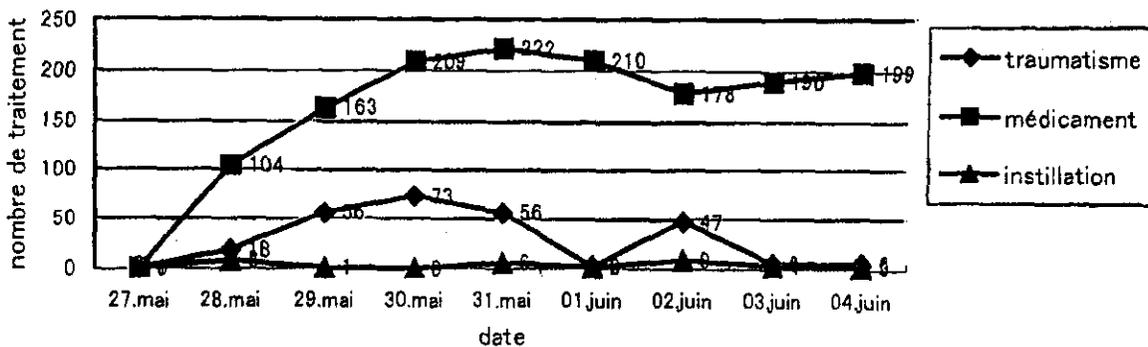
EVOLUTION DE CATEGORIES DE DIAGNOSTIC (27.mai ~ 04.juin, HOPITAL JDR)



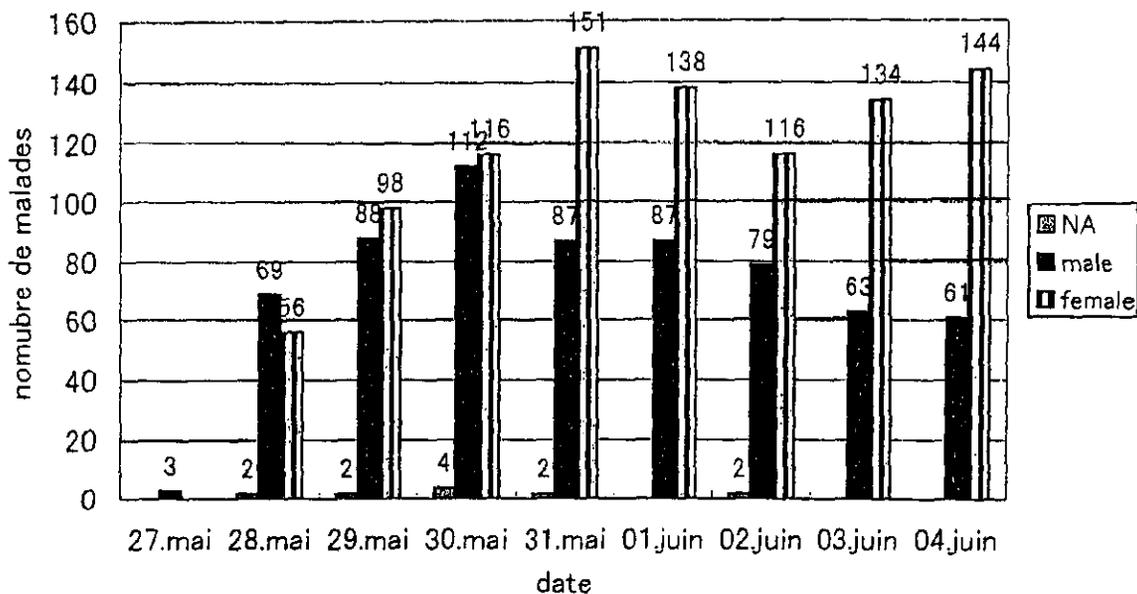
CATEGORIES DE DIAGNOSTIC (27.mai ~ 04.juin, HOPITAL JDR)



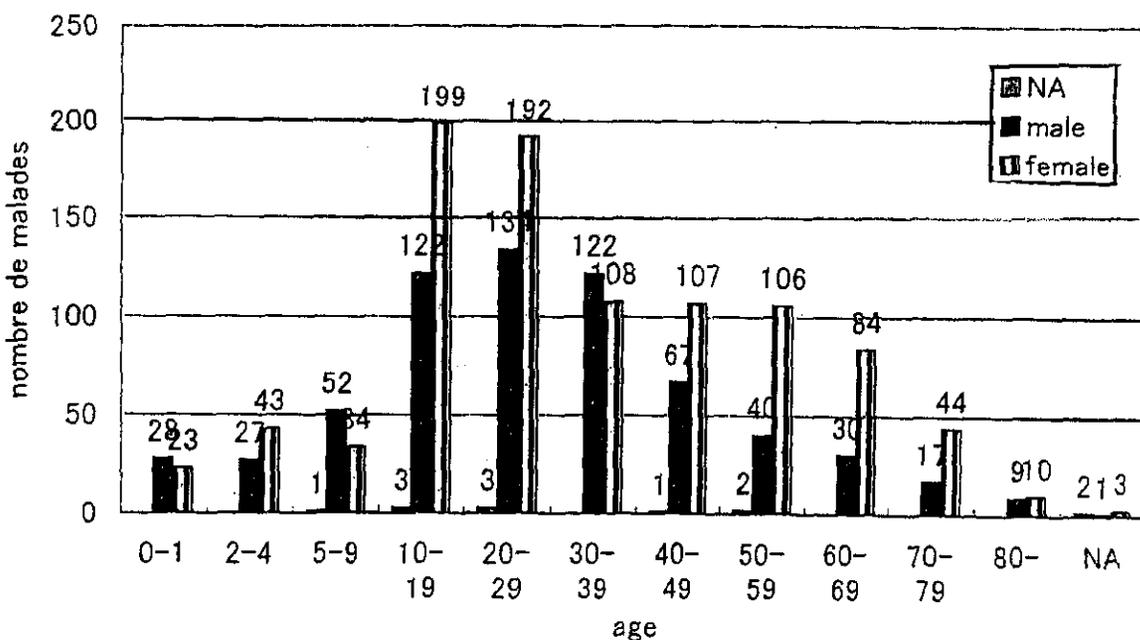
EVOLUTION DE TRAITEMENT MEDICAL (27.mai ~ 04.juin HOPITAL JDR)



LE NOMBRE DE MALADES PAR JOUR (27.mai~04.juin HOPITAL JDR)



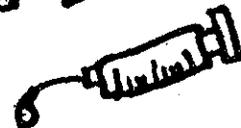
LE NOMBRE DE MALADES PAR AGE (27.mai~04.juin HOPITAL JDR)



L'EQUIPE MEDICALE DU JAPON

Appelle la population de Zemmouri à suivre les conseils sanitaires suivants :

- 1) Se laver les mains et se gargariser la bouche peut éviter des maladies ;
- 2) Il est indispensable de se laver le visage et les yeux avec de l'eau propre ;
- 3) Pour protéger votre peau, il est indispensable de se laver le corps ou de se doucher ;
- 4) Préserver la propreté des toilettes ;
- 5) Porter des vêtements chauds lorsque la nuit est fraîche et des vêtements légers lorsqu'il fait chaud la journée ;
- 6) L'intérieur de la tente doit être nettoyé au moins une fois par jour pour éviter d'être envahi par les mouches et les insectes ;
- 7) Afin de prévenir certaines maladies, faites vous vacciner ;
- 8) Le lait maternel est la meilleure nourriture pour le bébé. Les mères doivent donc boire suffisamment d'eau et manger suffisamment de fruits et de légumes et préserver leurs seins propres ;
- 9) En cas de persistance de diarrhée, fièvre, toux, irruption de boutons, blessures et manque de sommeil dû à l'anxiété, il faut se rendre à l'hôpital ;
- 10) Il faut se conformer aux prescriptions du médecin pour l'usage des médicaments.



الفرقة الطبية لليابان

توجه نداءً إلى سكان زَمُوري لإتباع النصائح الطبية التالية :

(١) غسل اليدين و غرغرة الفم لتجنب الأمراض ؛

(٢) من الضروريّ غسل الوجه و العينين بماء نظيف ؛

(٣) من الضروريّ غسل الجسم أو الاستحمام لحماية الجلد ؛

(٤) المحافظة على نظافة المراض ؛

(٥) لبس ثياب دافئة في الليل البارد و ثياب خفيفة في حرارة النهار ؛

(٦) تنظيف الخيمة مرة واحدة على الأقل لمقاومة الذباب والحشرات ؛

(٧) اللجوء إلى التطعيم لتجنب الأمراض ؛

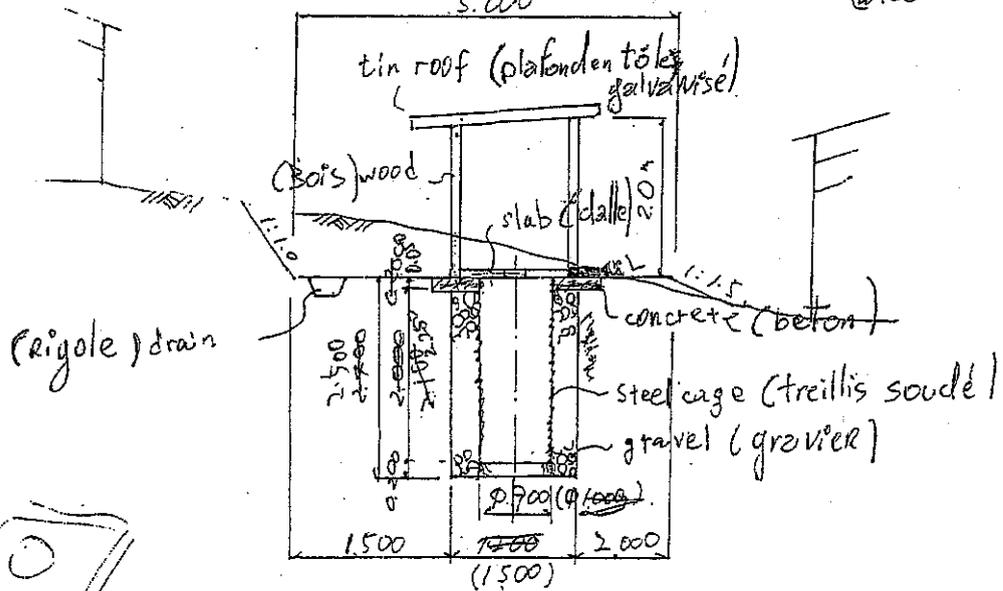
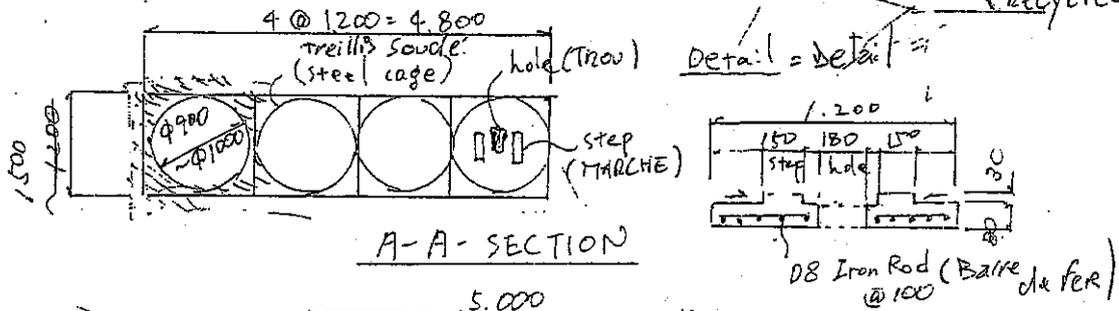
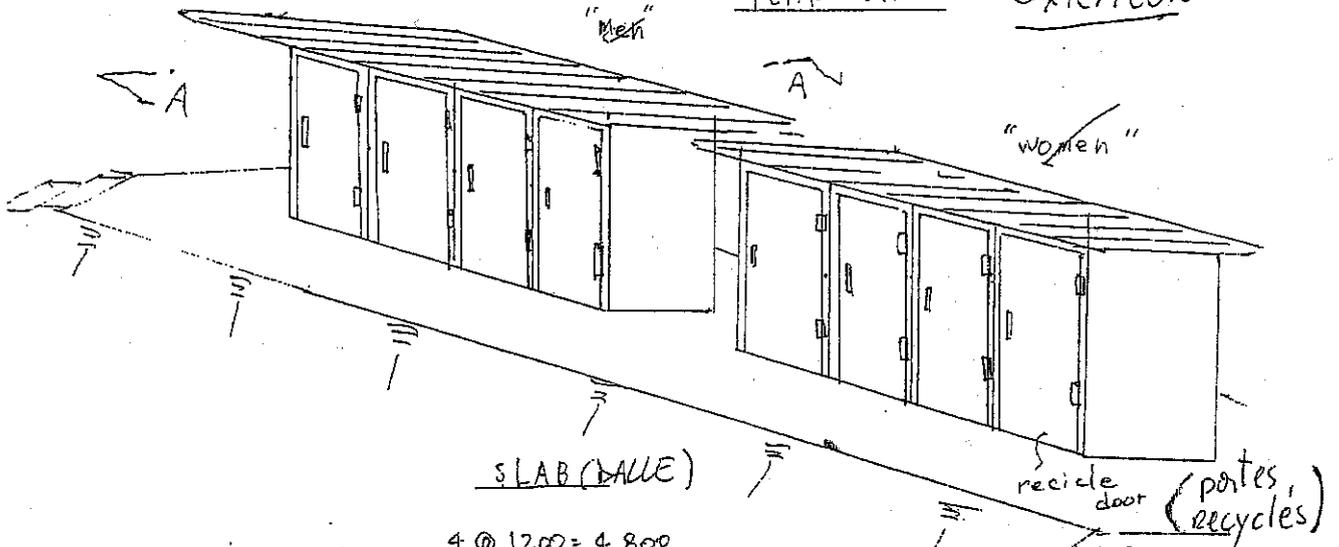
(٨) حليب الأمّ هو أفضل غذاء للرضيع، لذا على الأمّ أن تشرب الكثير من الماء و أن تتناول الفواكه و الخضر بما فيه الكفاية ؛

(٩) في حالة استمرار الإسهال و الحمى و السعال و الدّمامل و الحبّ و الجروح و قلة النوم من جراء القلق، يجب التوجه إلى أقرب مستشفى في الحال ؛

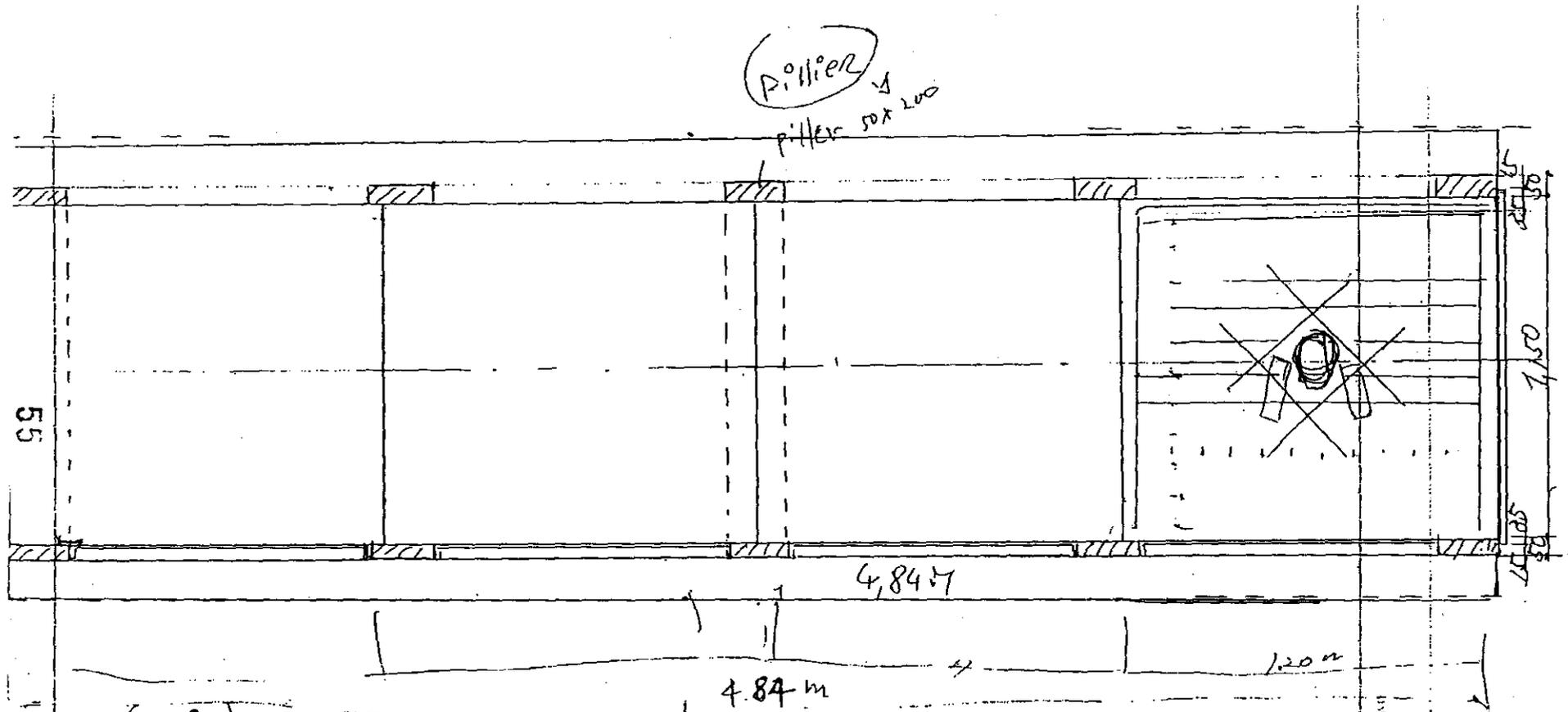
(١٠) يجب احترام نصائح الطبيب في كيفية تناول الأدوية.

Zemmour: Toilet Plan

PLAN VIEW → Exterior



6cm



wood (BOIS)

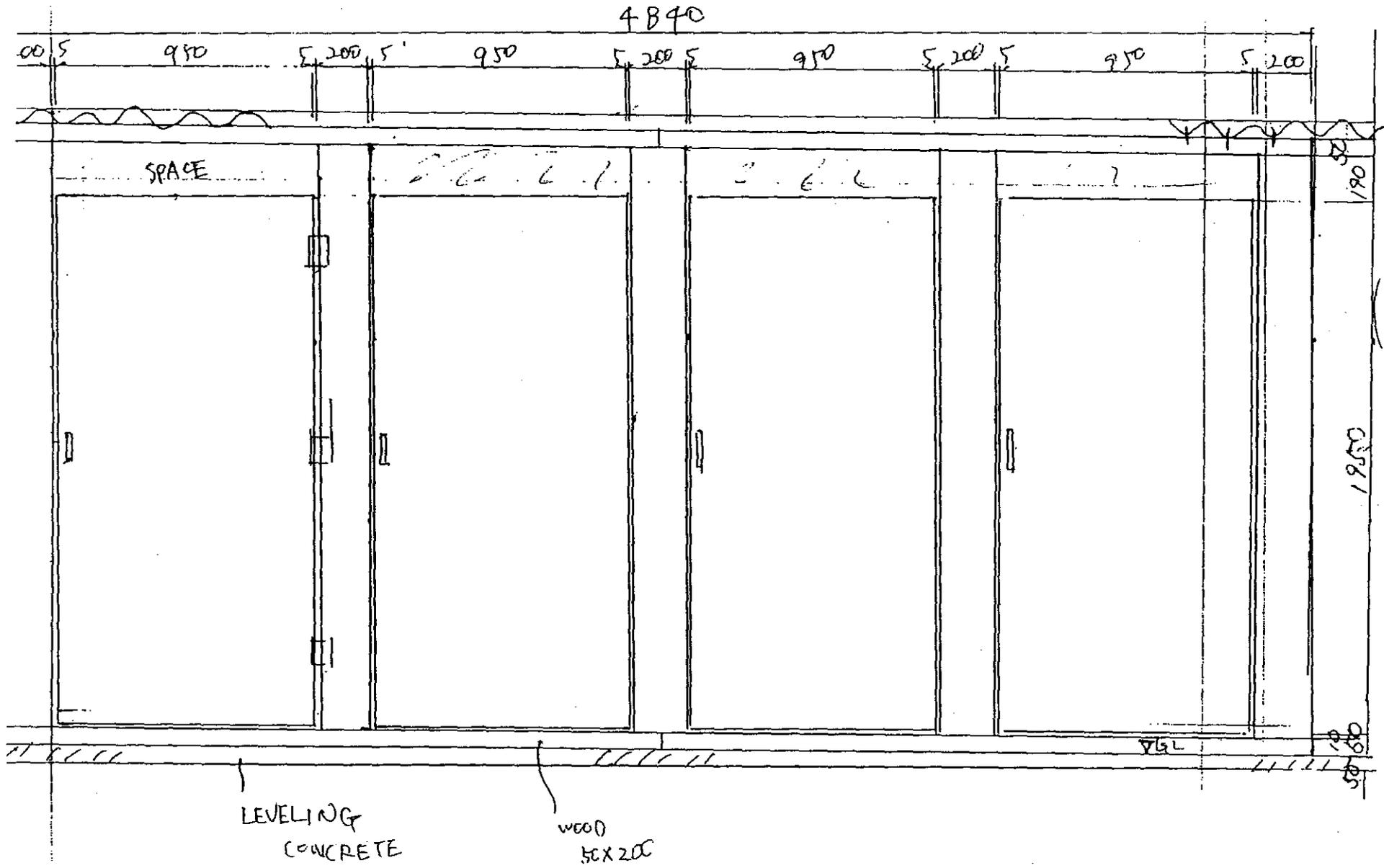
- 50x200 x 4840 x (4x2)
- 50x200 x 1150 x (4x2)
- 50x200 x 2150 x (5x2)
- 50x200 x 2050 x (5x2)
- 50x65 x 1250 x (5x2)

4.84 m

8^{mm} Iron bar BARRRE DEFER

{	1.10 x 11	}	x 8
	1.05 x 12		
	0.70 x 4		

-70-



Devis Pour la construction de toilettes simples

(17th NAKAZAWA)

ゼンムリ簡易トイレ工事見積書							2003.5.29
		TAILLE STANDARD	Unité	qte	Prix	Unité: DA	
	名称 ITEM	規格・寸法	単位	数量	単価	金額	摘要 Remarque
1.	土木工事 GENIE CIVILE					97,500	
	1) 掘削・整地工事 TERRASSEMENT					14,100	
	バックホー pelleteuse	0. 2m3	日	0.5	25,000	12,500	
	作業員 Main d'œuvre		人	2	800	1,600	
	2) 貯留槽工事 Reservoir					83,400	
	バックホー pelleteuse	0. 2m3	日	1	25,000	25,000	
	作業員 Main d'œuvre		人	4	800	3,200	
	鉄網かご(外) Treillis Soude		m	40	165	6,600	
	鉄網かご(内) Treillis Soude		m	40	165	6,600	
	碎石 GRAVIER	5.0~15.0	m3	28	1,500	42,000	
2.	建設工事 CONSTRUCTION					69,690	
	1) 床板設置工事 dalle					16,690	
	作業員 Main d'œuvre		人	3	1,200	3,600	
	セメント CEMENT	早強 50kg袋	袋	5	1,050	5,250	
	碎石 GRAVIER	0~20	m3	1	1,500	1,500	
	砂 SABLE		m3	1	2,500	2,500	
	鉄筋 BARRE de FER	D8	m	240	16	3,840	
	2) 枠組・ドア取付工事 PORTES/CADRES					43,500	
	作業員 Main d'œuvre		人	6	1,200	7,200	
	木材 PLANCHE(BOIS)	50x200x4m	本	20	900	18,000	型枠材を転用
	木材 PLANCHE(BOIS)	50x200x3m	本	16	675	10,800	"
	ベニヤ板 CONTRE PLAQUE	3.6x244x122	枚	12	500	6,000	
	金具等 FERRONNERIE		式	1	1,500	1,500	
	3) 屋根工事					9,500	
	作業員 MAIN D'OEUVRE		人	3	1,200	3,600	
	トタン板 TOLE ONDULEE	93x200	枚	6	650	3,900	
	金具等 FERRONNERIE		式	1	2,000	2,000	
3.	直接費計 COUT DIRECT					167,190	
4.	諸経費 DEPENSES VARIEES					25,079	15%
5.	合計 COUITS TOTAL					192,269	DA
						¥288,403	

J D R Sanitation groupe

بيان مفصل بالعملة ببناء مرحاض

(السيد نكزوي)

ゼンムリ簡易トイレ工事見積書

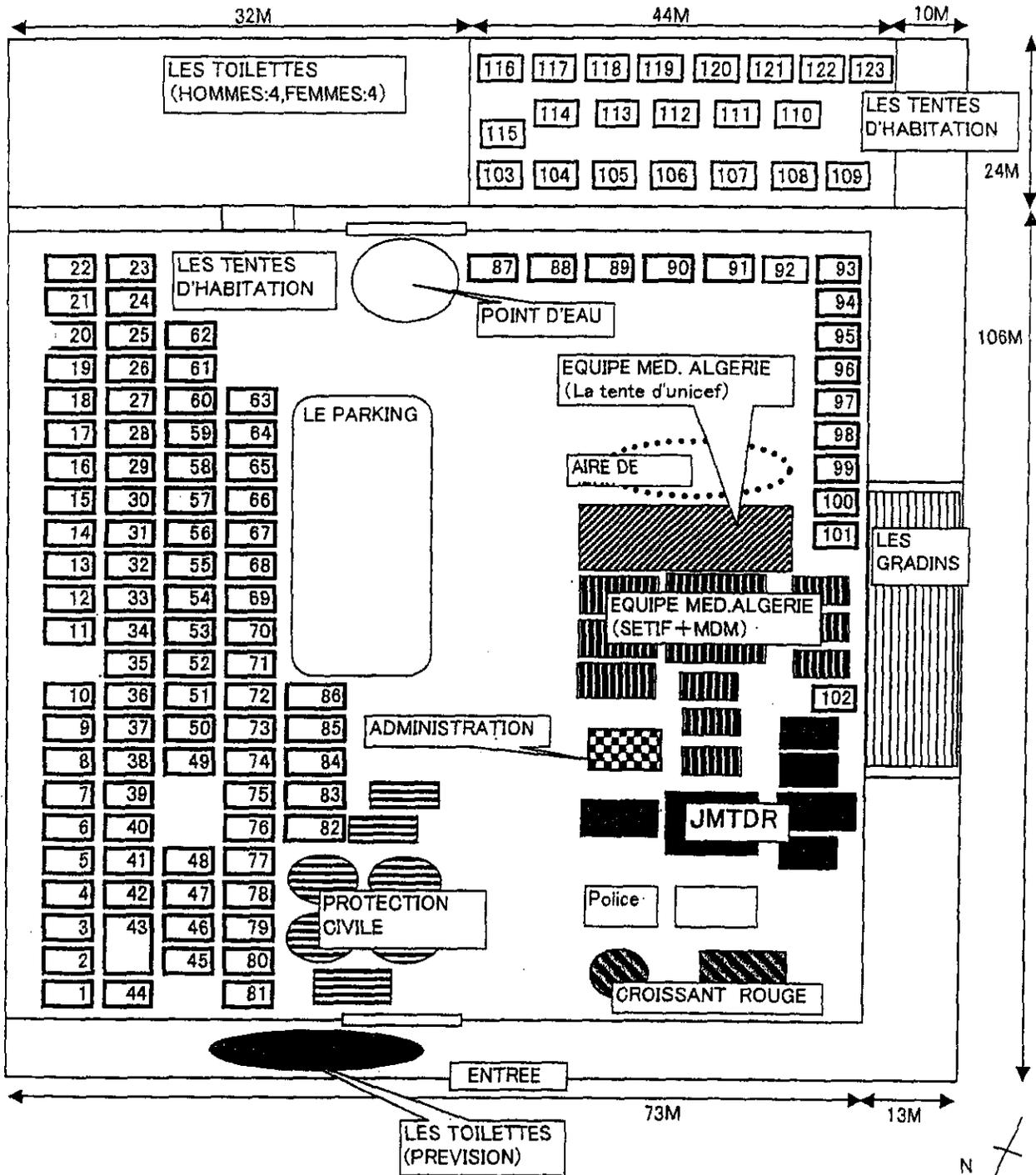
2003.5.29

		قياسي		وحدة		سعر		وحدة: دينار		ملاحظة	
名称	规格・寸法	単位	数量	単価	金額	摘要					
1. 土木工事	مدرسة				97,500						
1) 掘削・整地工事	تنجالت الحفر				14,100						
	バックホー	0.2m3	0.5	25,000	12,500						
	作業員		2	800	1,600						
2) 貯留槽工事	مخزن الماء				83,400						
	バックホー	0.2m3	1	25,000	25,000						
	作業員		4	800	3,200						
	鉄網かご(外)		40	165	6,600						
	鉄網かご(内)		40	165	6,600						
	碎石	50~150	28	1,500	42,000						
2. 建設工事	بناء				69,690						
1) 床板設置工事	بلاطة				16,690						
	作業員		3	1,200	3,600						
	セメント	早強 50kg袋	5	1,050	5,250						
	碎石	0~20	1	1,500	1,500						
	砂		1	2,500	2,500						
	鉄筋	D8	240	16	3,840						
2) 枠組・ドア取付工事	أبواب				43,500						
	作業員		6	1,200	7,200						
	木材	50x200x4m	20	900	18,000	型枠材を転用					
	木材	50x200x3m	16	675	10,800	"					
	ベニヤ板	3.6x244x122	12	500	6,000						
	金具等		1	1,500	1,500						
3) 屋根工事					9,500						
	作業員		3	1,200	3,600						
	トタン板	93x200	6	650	3,900						
	金具等		1	2,000	2,000						
3. 直接費計	سعر				167,190						
4. 経費	نقطة				25,079	15%					
5. 合計	نقطة				192,269	DA					
					¥288,403						

L'équipe médicale du Japon pour les secours d'urgence suite au seisme en Algérie

Plan du site des activités de l'équipe médicale du Japon

2003.05.31



1) Echelle approximative

2) Les numeros sont ceux qui figurent sur les tentes au niveau du stade de Zemmouri

Realise par Nagai.S

